

栗東市
障がい福祉についての
アンケート調査 結果報告書

令和2年9月
滋賀県 栗東市

目 次

I アンケート調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査概要	1
3 回収結果	1
4 報告書の見方	1
II アンケート調査結果	2
記入者について	2
1 調査対象者について	3
2 日常生活について	8
3 就労・就学について	30
4 スポーツ・レクリエーションのことについて	41
5 災害時のことについて	44
6 障がい福祉サービスについて	48
7 一人ひとりの権利を守る取り組みについて	52
8 今後についてのあなたのお考えについて	58
9 障がいのある人を「主に介助する人」について	61

I アンケート調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「第3期栗東市障がい者基本計画・第6期栗東市障がい福祉計画」の策定のための基礎資料とするとともに、障がい者福祉施策を進める際の参考とすることを目的とし、市内にお住まいの障がいのある方を対象として、生活や福祉サービスの利用状況などを把握するために実施しました。

2 調査概要

- 調査地域：栗東市全域
- 調査対象者：身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者、発達障がい診断を受けている方、難病認定を受けている方
- 調査期間：令和2年7月29日（水）～8月12日（水）
- 調査方法：調査票による本人記入方式、郵送配布・郵送回収による郵送調査

3 回収結果

配布数	有効回収数	有効回収率
2,106 件	1,355 件	64.3%

4 報告書の見方

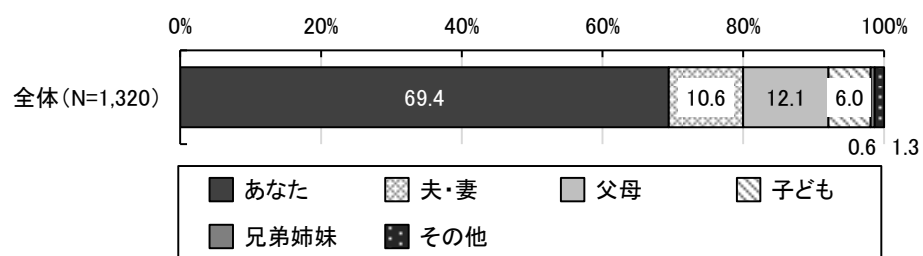
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の分析において「N」が10以下の回答はその対象に含めていません。
- 本文中では、身体障害者手帳所持者を「身体」、療育手帳所持者を「知的」、精神障害者保健福祉手帳所持者を「精神」、発達障がい診断を受けている方を「発達」、難病認定を受けている方を「難病」とそれぞれ略記しています。

Ⅱ アンケート調査結果

記入者について

◎アンケートに直接記入していただく方はどなたですか。（1つに○）

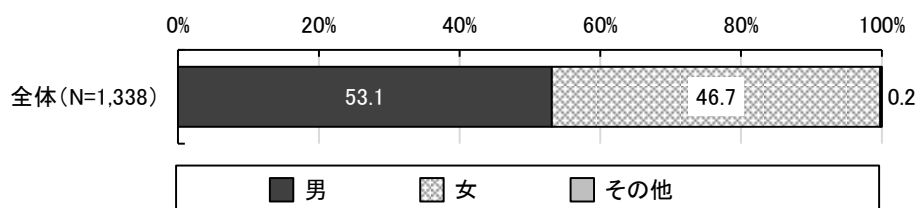
記入者についてみると、「あなた」が69.4%と最も高く、次いで「父母」が12.1%となっています。



1 調査対象者について

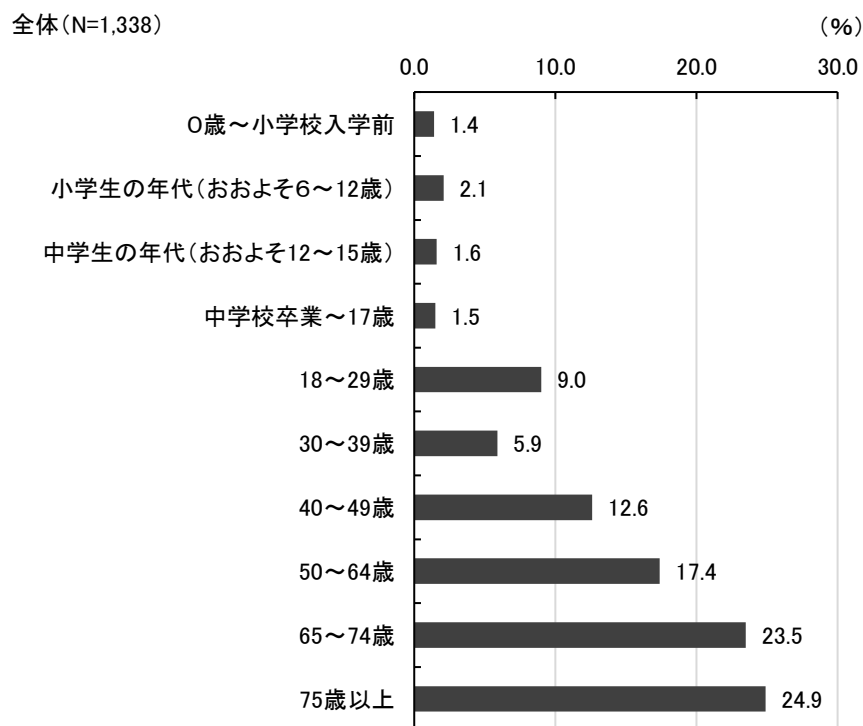
問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

性別についてみると、「男」が53.1%、「女」が46.7%、「その他」が0.2%となっています。



問2 あなたの年齢もしくは年代をお答えください。(1つに○) ※令和2年7月1日現在

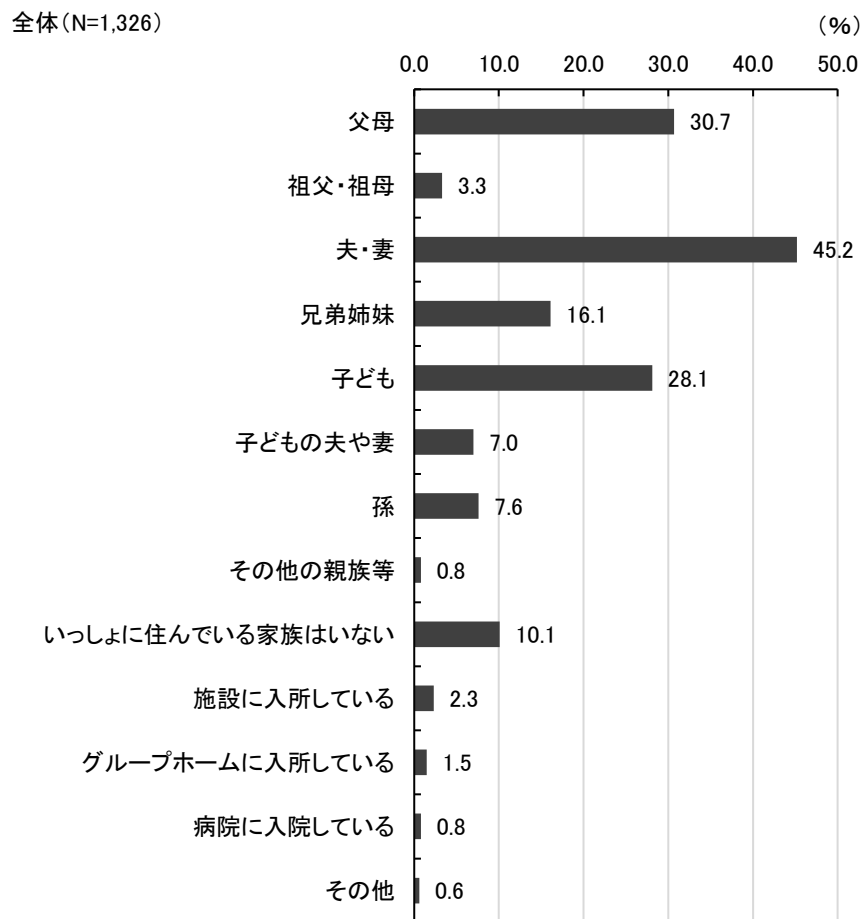
年齢もしくは年代についてみると、「75歳以上」が24.9%と最も高く、次いで「65～74歳」が23.5%となっています。



問3 あなたがいっしょに住んでいるご家族は誰かをお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

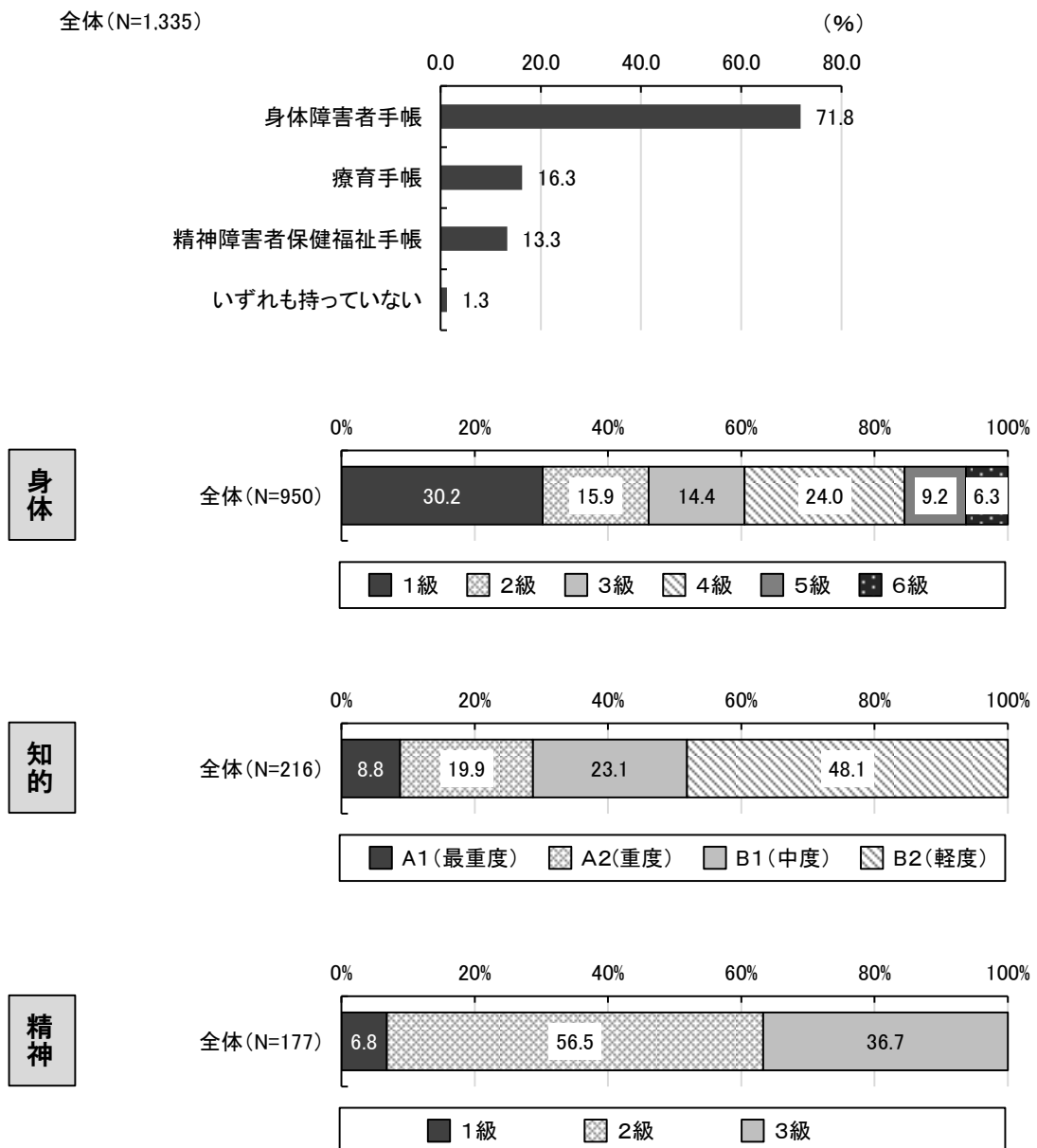
同居家族についてみると、「夫・妻」が45.2%と最も高く、次いで「父母」が30.7%となっています。



問4 あなたがお持ちの「障がい種別手帳」の種類と「等級」をそれぞれお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

障がい種別手帳についてみると、「身体障害者手帳」が71.8%と最も高く、次いで「療育手帳」が16.3%、「精神障害者保健福祉手帳」が13.3%となっています。

等級についてみると、「身体障害者手帳」では「1級」が30.2%と最も高く、次いで「4級」が24.0%となっています。「療育手帳」では「B2(軽度)」が48.1%と最も高く、次いで「B1(中度)」が23.1%となっています。「精神障害者保健福祉手帳」では「2級」が56.5%と最も高く、次いで「3級」が36.7%となっています。

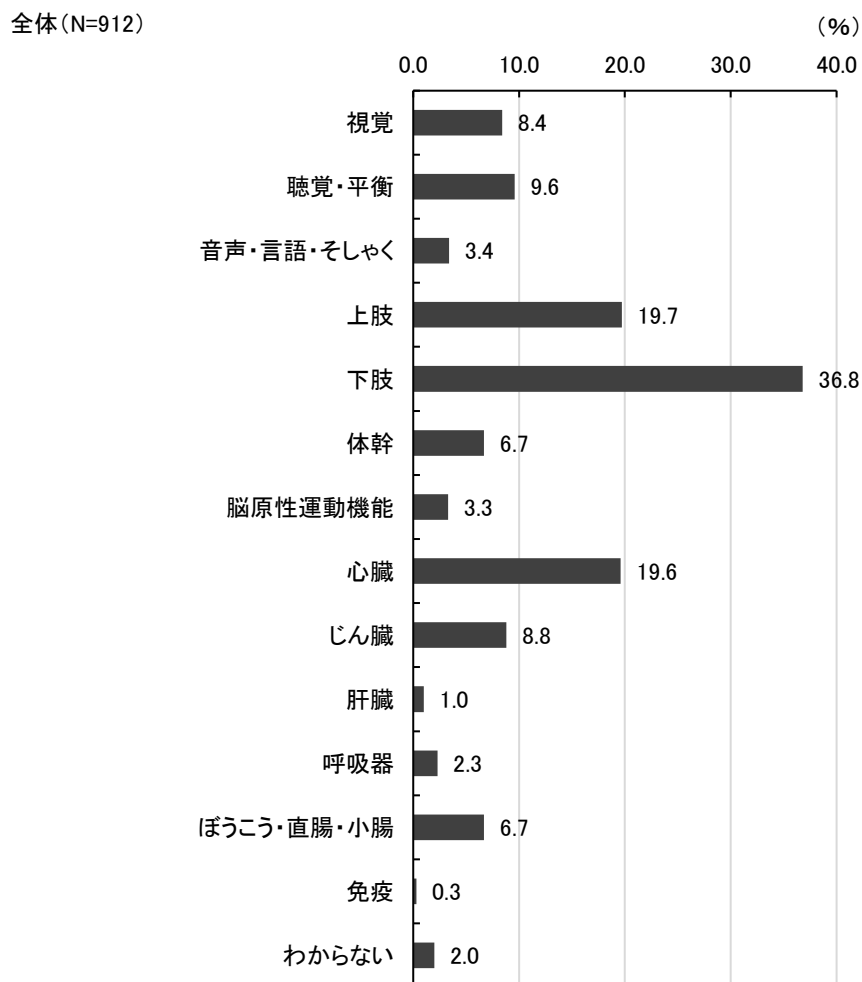


問4で「身体障害者手帳」を選んだ方

問4－1 あなたの身体障害者手帳に記載されている障がい名をお答えください。

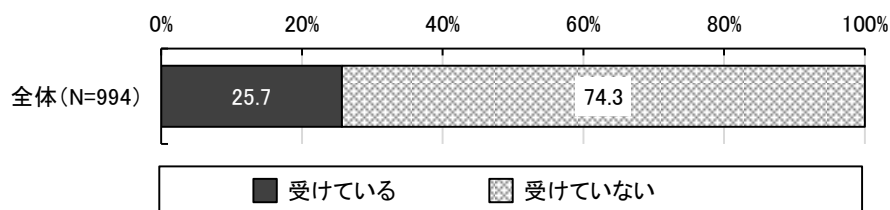
(あてはまるものすべてに○)

身体障害者手帳に記載されている障がい名についてみると、「下肢」が36.8%と最も高く、次いで「上肢」が19.7%となっています。



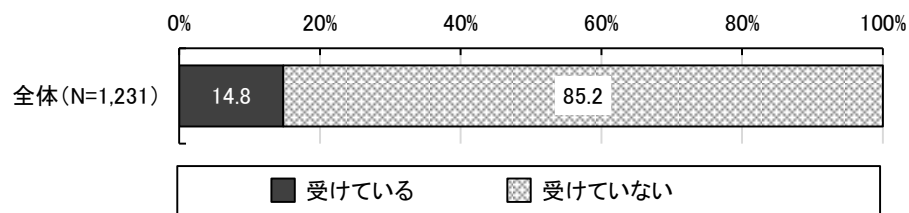
問5 あなたは、介護保険制度の要支援・要介護認定を受けていますか。(1つに○)

要支援・要介護認定についてみると、「受けている」が25.7%、「受けていない」が74.3%となっています。



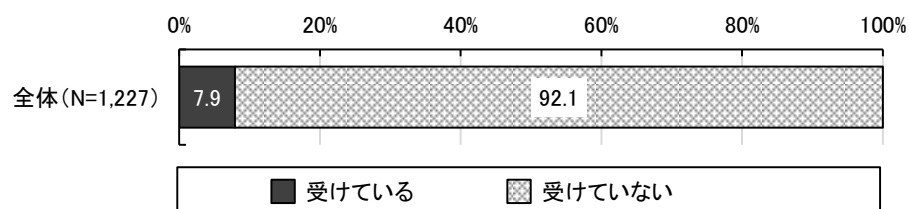
問6 あなたは、発達障がい診断を受けていますか。(1つに○)

発達障がい診断についてみると、「受けている」が14.8%、「受けていない」が85.2%となっています。



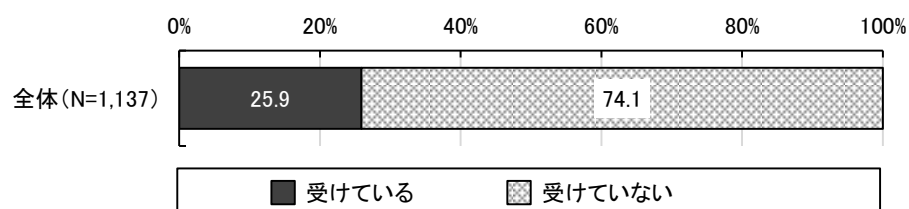
問7 あなたは、難病認定を受けていますか。(1つに○)

難病認定についてみると、「受けている」が7.9%、「受けていない」が92.1%となっています。



問8 あなたは、障がい支援区分の認定を受けていますか。(1つに○)

障がい支援区分の認定についてみると、「受けている」が25.9%、「受けていない」が74.1%となっています。



2 日常生活について

問9 あなたは次の①～⑫の日常生活の項目についてどの程度できますか。(それぞれ1つに○)

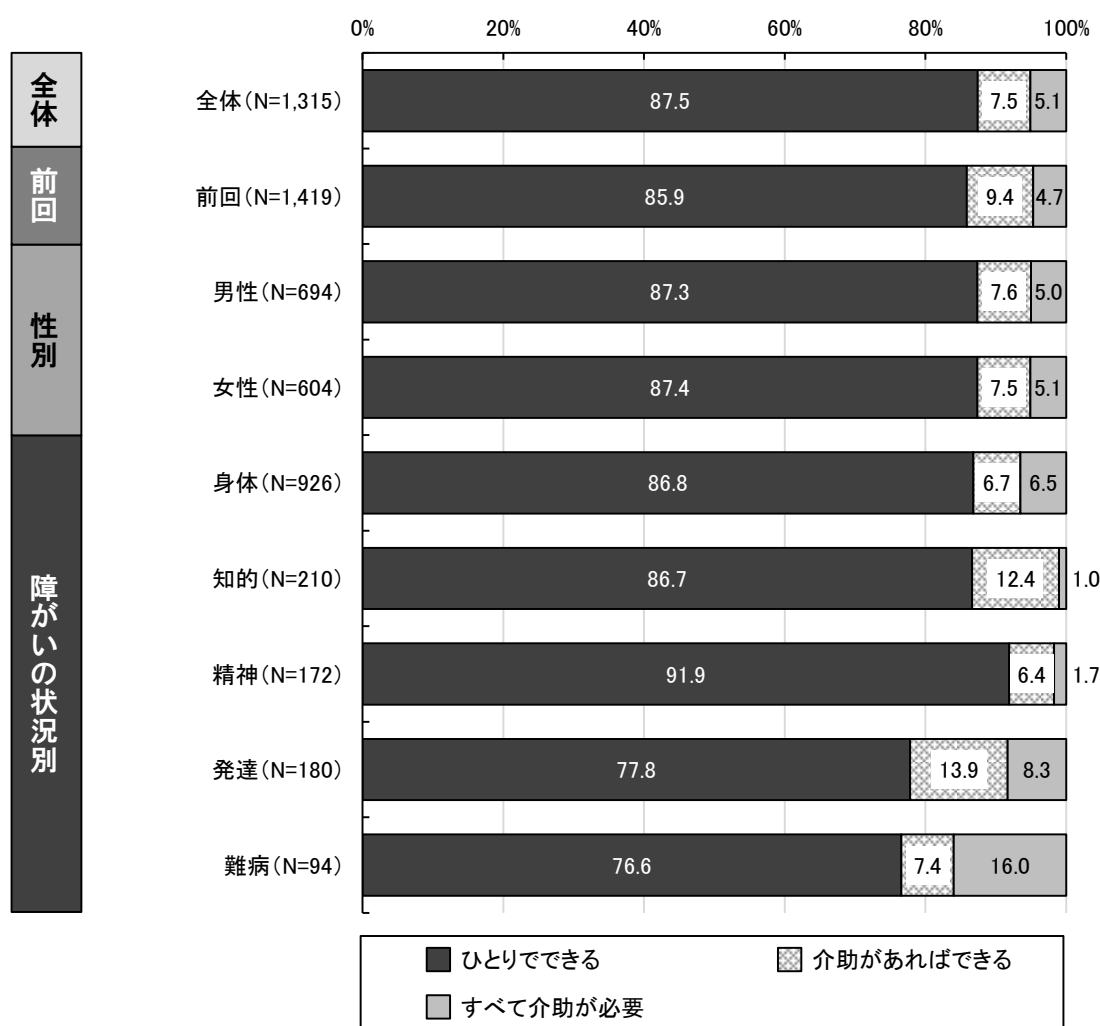
①食事をする

食事をするについてみると、全体では「ひとりでできる」が87.5%と最も高く、次いで「介助があればできる」が7.5%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。



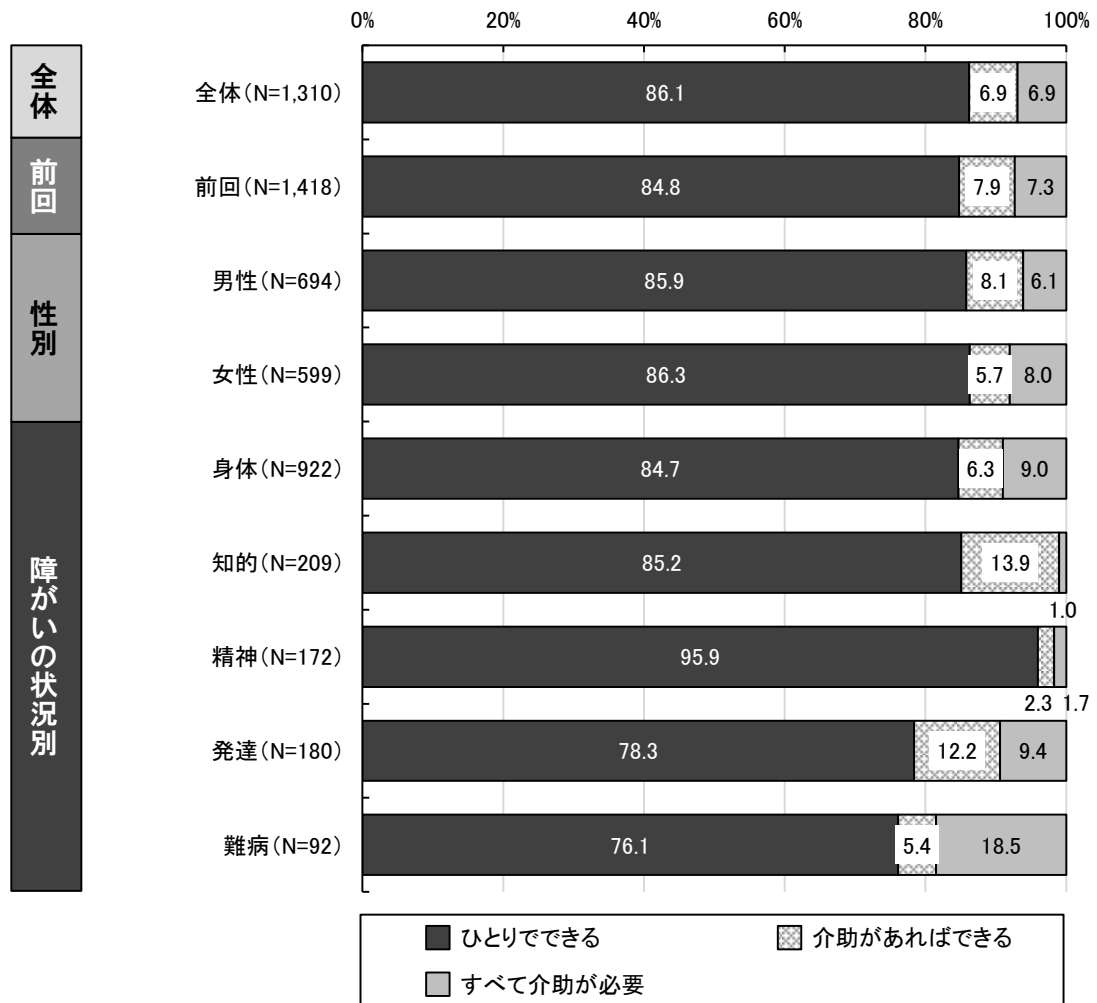
②トイレに行く

トイレに行くについてみると、全体では「ひとりでできる」が86.1%と最も高く、次いで「介助があればできる」「すべて介助が必要」がともに6.9%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。



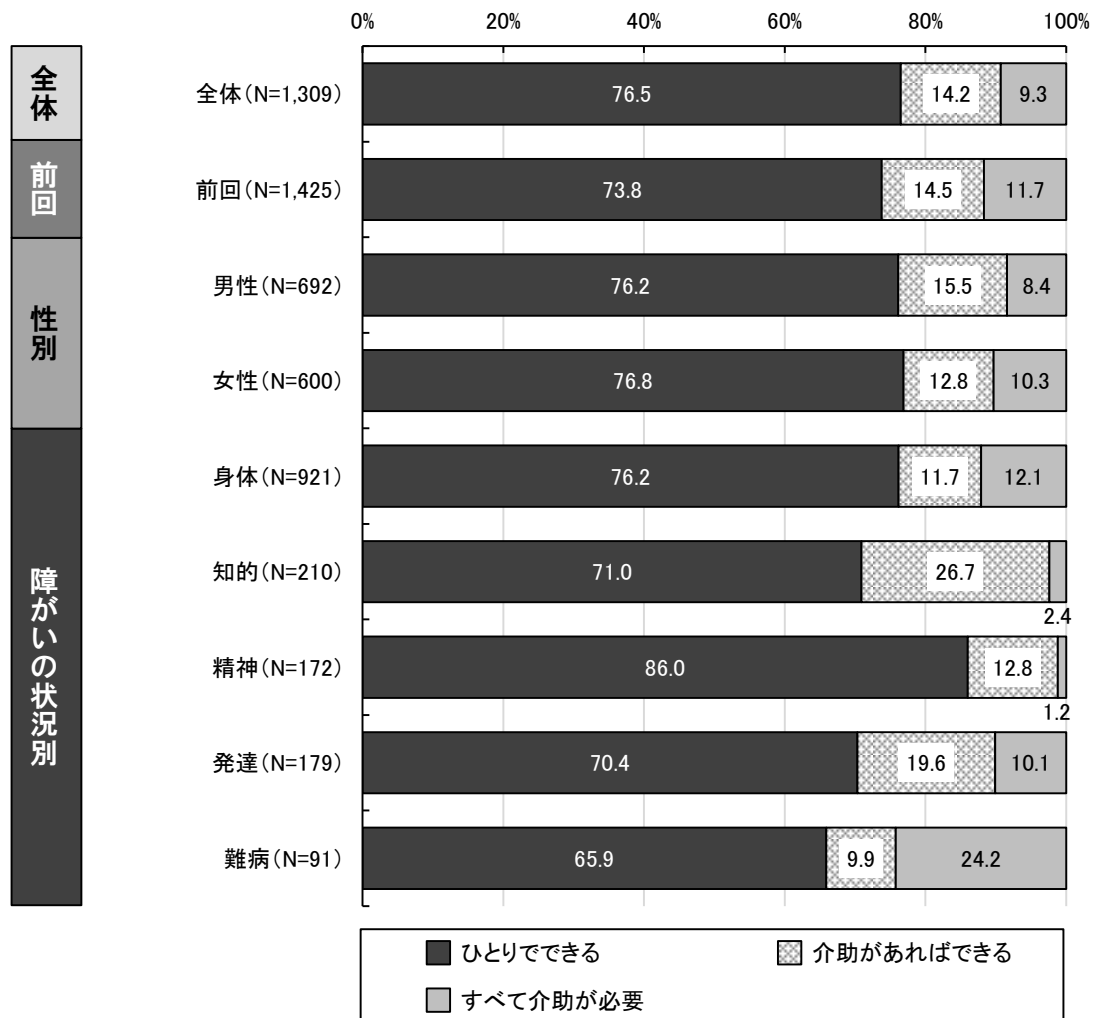
③お風呂に入る

お風呂に入るについてみると、全体では「ひとりでできる」が76.5%と最も高く、次いで「介助があればできる」が14.2%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。



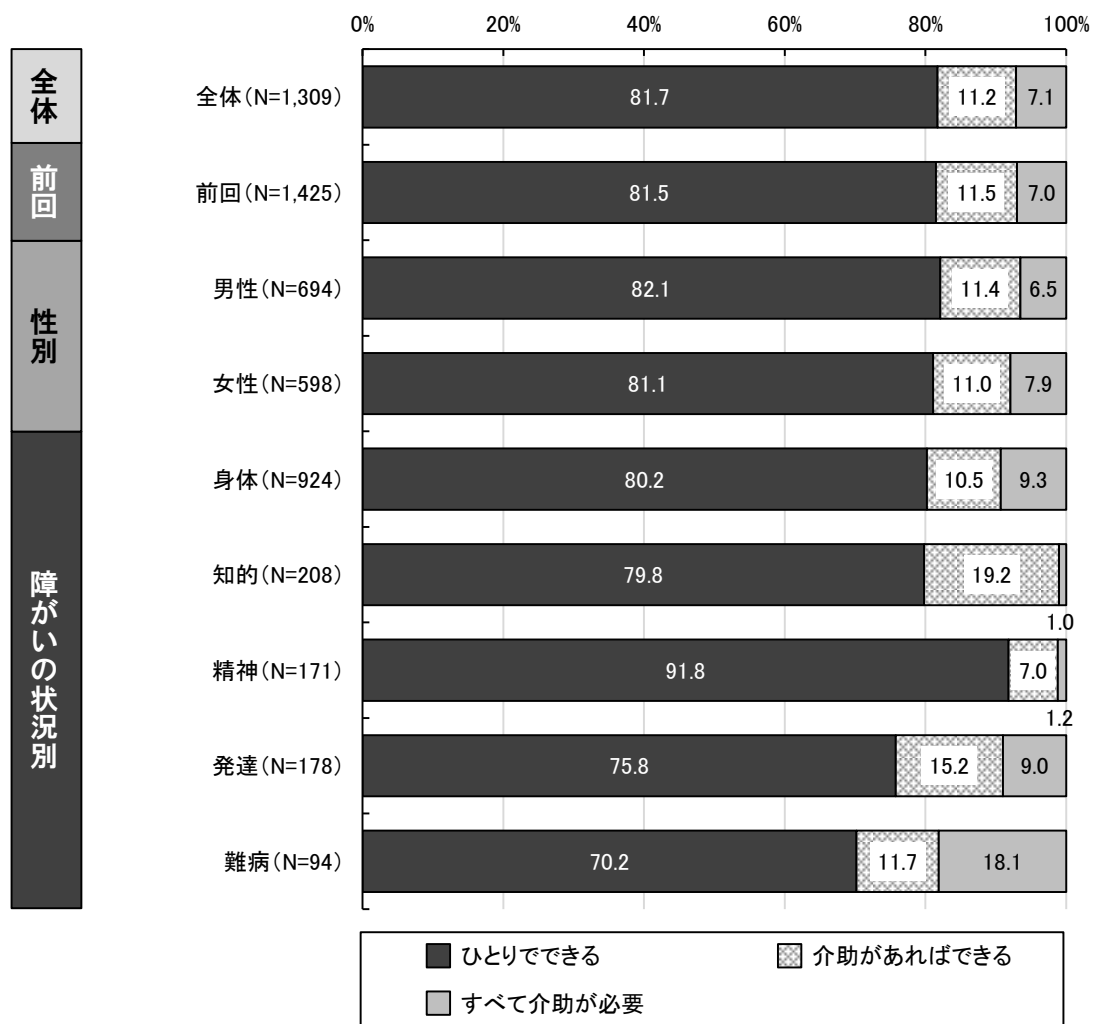
④着替え

着替えについてみると、全体では「ひとりでできる」が81.7%と最も高く、次いで「介助があればできる」が11.2%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。



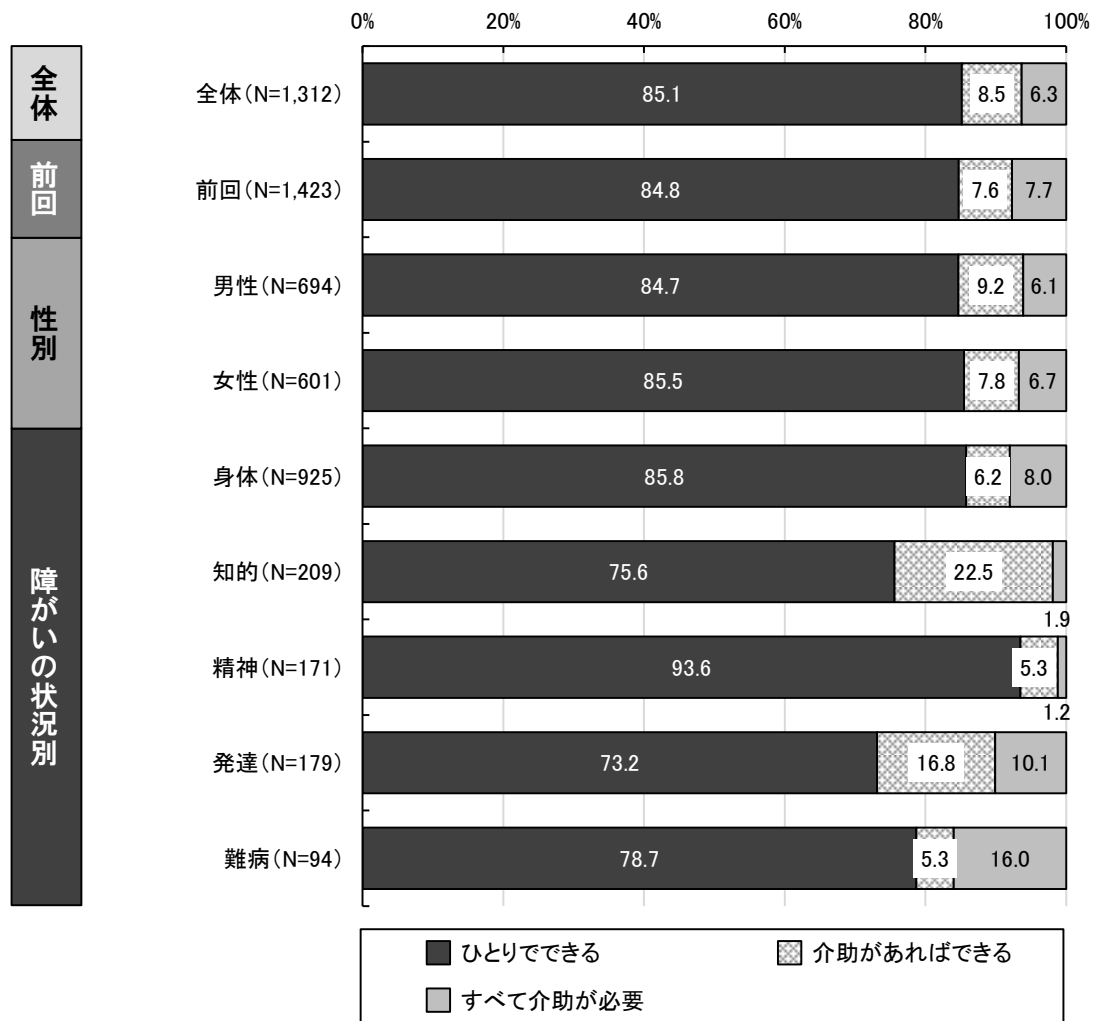
⑤顔を洗う、歯みがきなど

顔を洗う、歯みがきなどについてみると、全体では「ひとりでできる」が85.1%と最も高く、次いで「介助があればできる」が8.5%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。



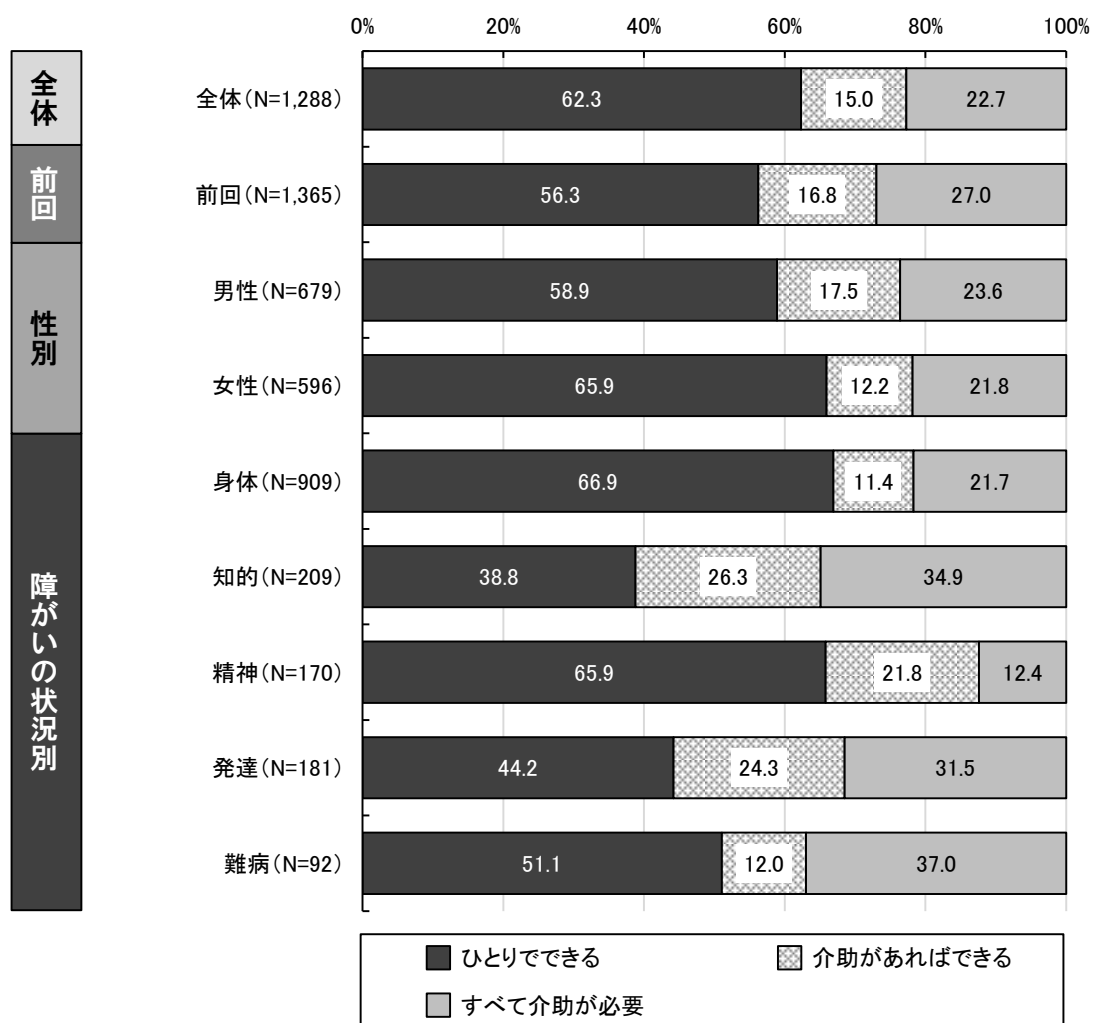
⑥食事を用意する

食事を用意するについてみると、全体では「ひとりでできる」が62.3%と最も高く、次いで「すべて介助が必要」が22.7%となっています。

前回と比較すると、「ひとりでできる」が6.0ポイント増加しています。

性別にみると、「ひとりでできる」では女性が男性より7.0ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。



※前回調査では「①食事をつくる」

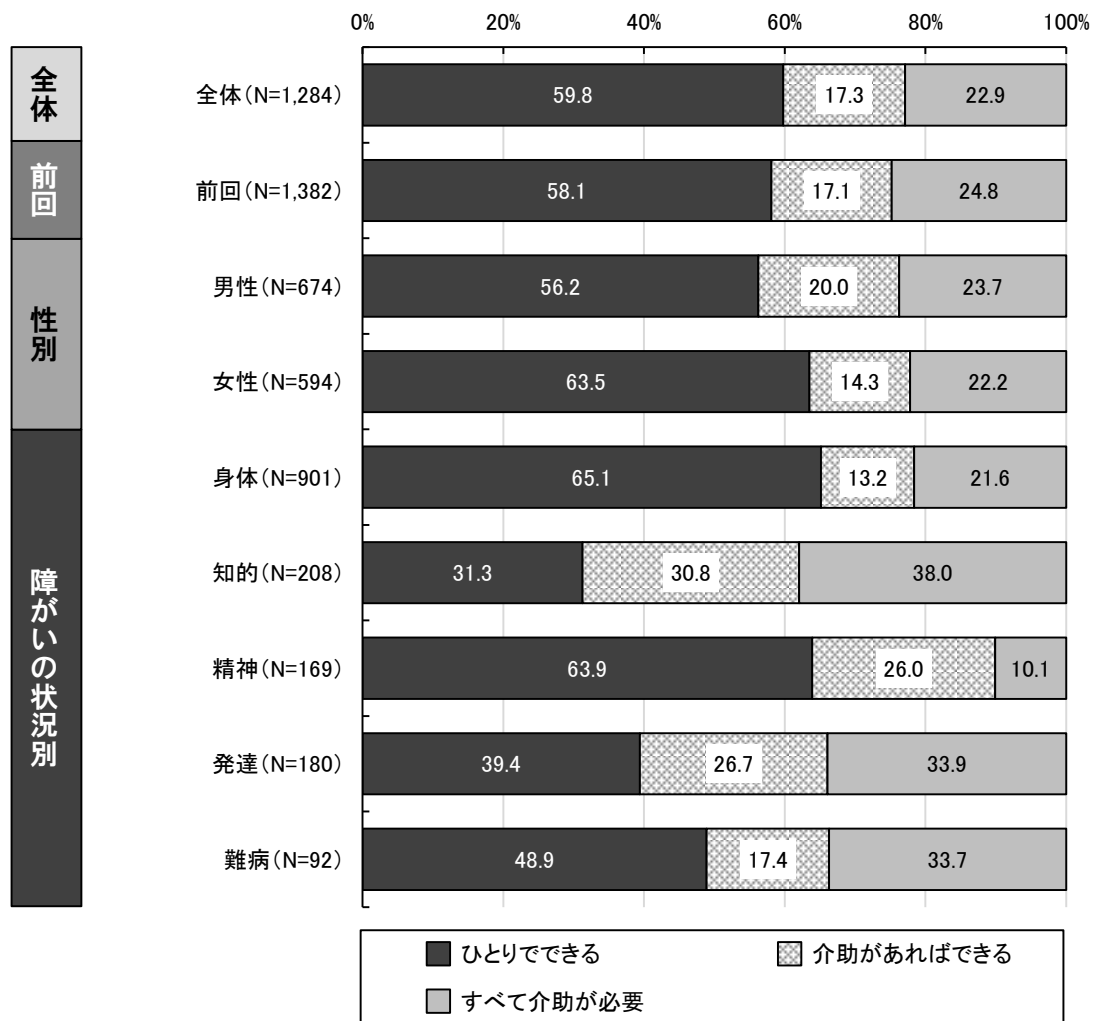
⑦掃除、洗濯などの家事

掃除、洗濯などの家事についてみると、全体では「ひとりでできる」が59.8%と最も高く、次いで「すべて介助が必要」が22.9%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、「ひとりでできる」では女性が男性より7.3ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、「身体」「精神」「発達」「難病」では「ひとりでできる」、「知的」では「すべて介助が必要」がそれぞれ最も高くなっています。



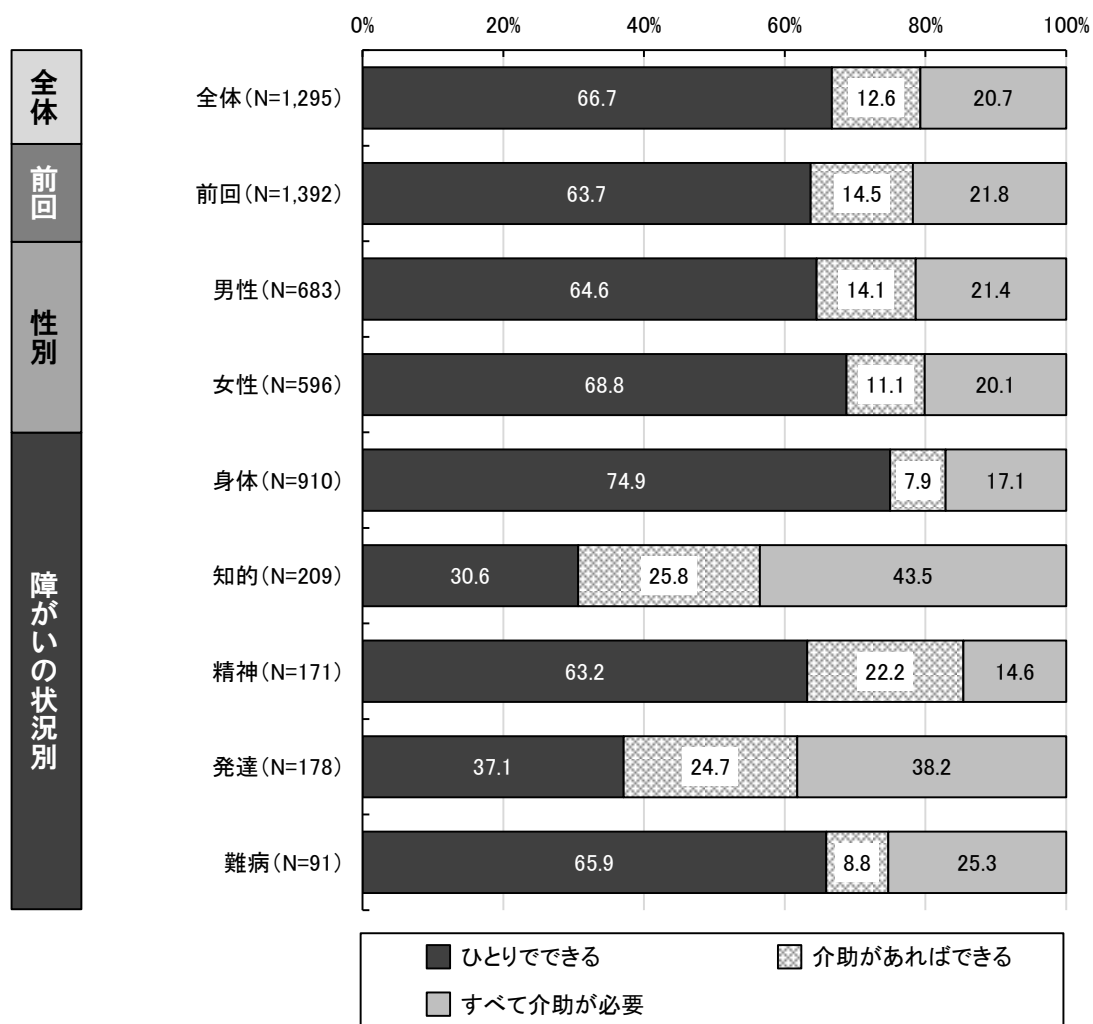
⑧計画的なお金の使用

計画的なお金の使用についてみると、全体では「ひとりでできる」が66.7%と最も高く、次いで「すべて介助が必要」が20.7%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、「身体」「精神」「難病」では「ひとりでできる」、「知的」「発達」では「すべて介助が必要」がそれぞれ最も高くなっています。



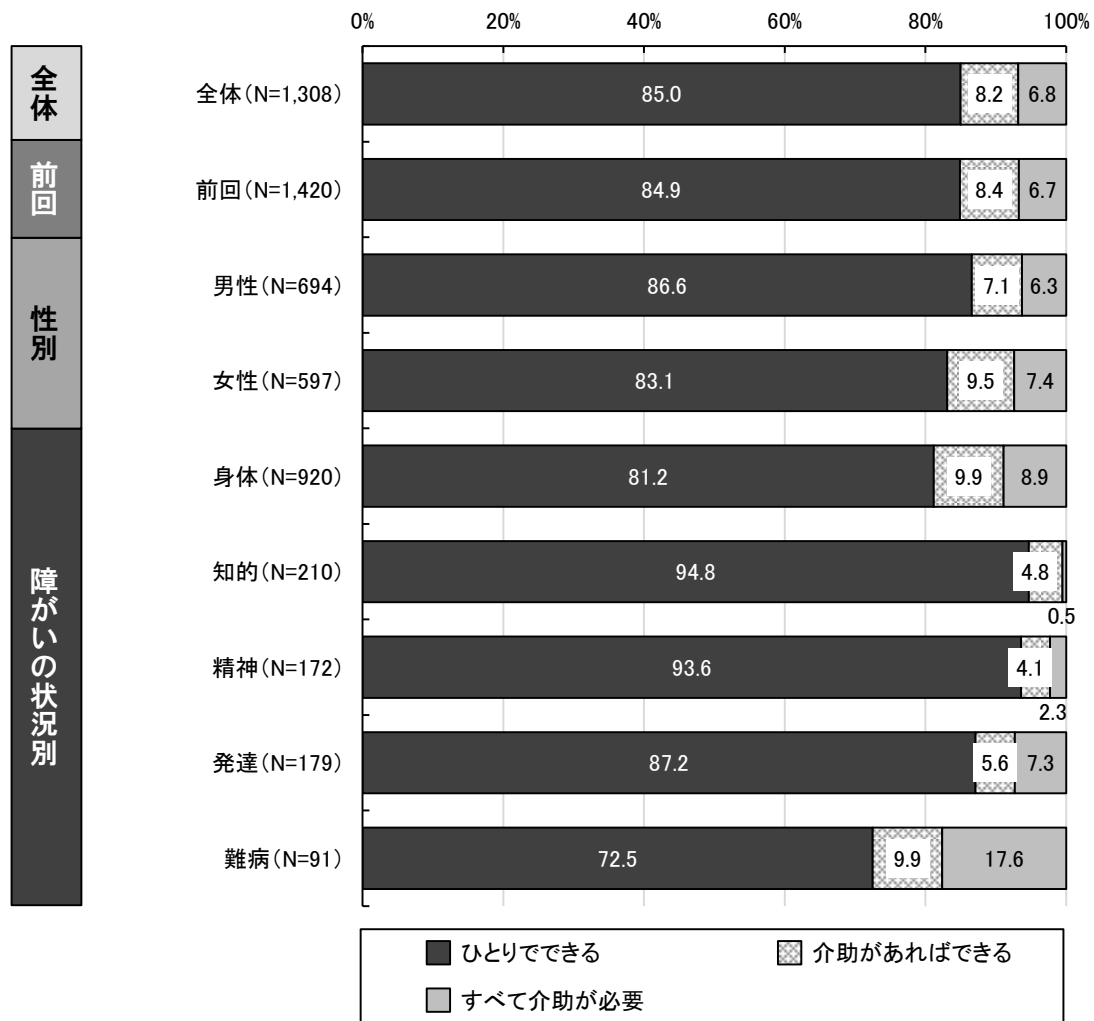
⑨家の中の移動

家の中の移動についてみると、全体では「ひとりでできる」が85.0%と最も高く、次いで「介助があればできる」が8.2%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。



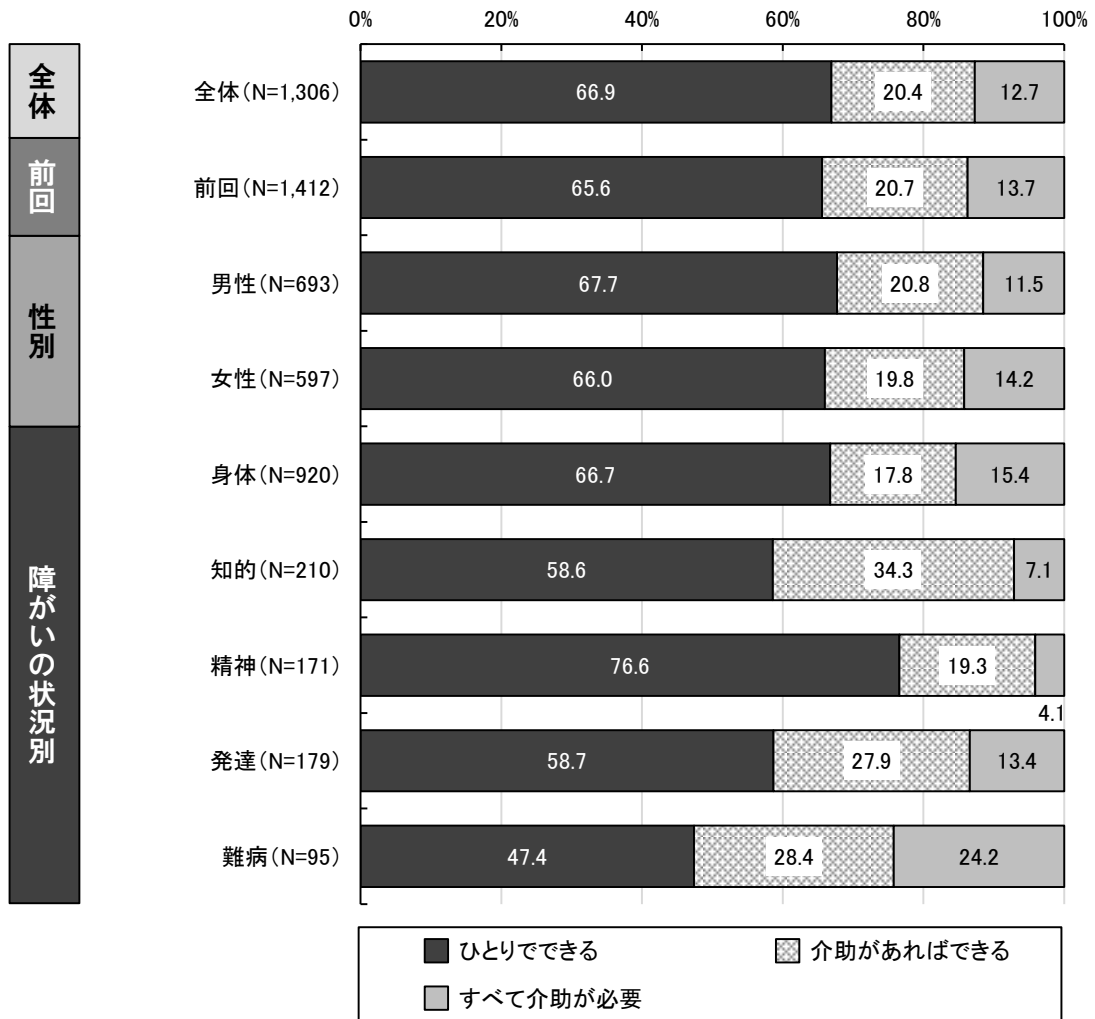
⑩家の外の移動

家の外の移動についてみると、全体では「ひとりでできる」が66.9%と最も高く、次いで「介助があればできる」が20.4%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。



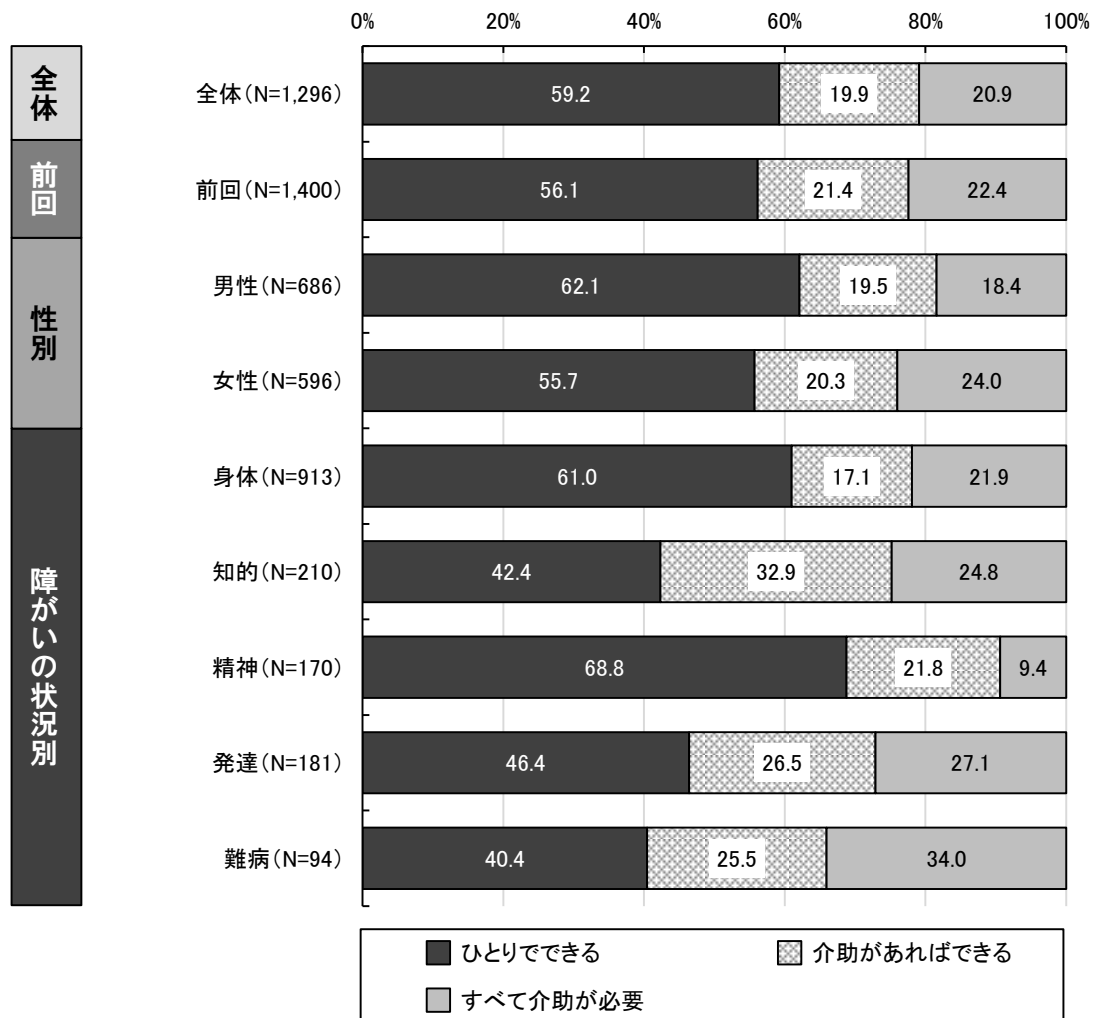
⑪交通機関の利用

交通機関の利用についてみると、全体では「ひとりでできる」が59.2%と最も高く、次いで「すべて介助が必要」が20.9%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、「ひとりでできる」では男性が女性より6.4ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。



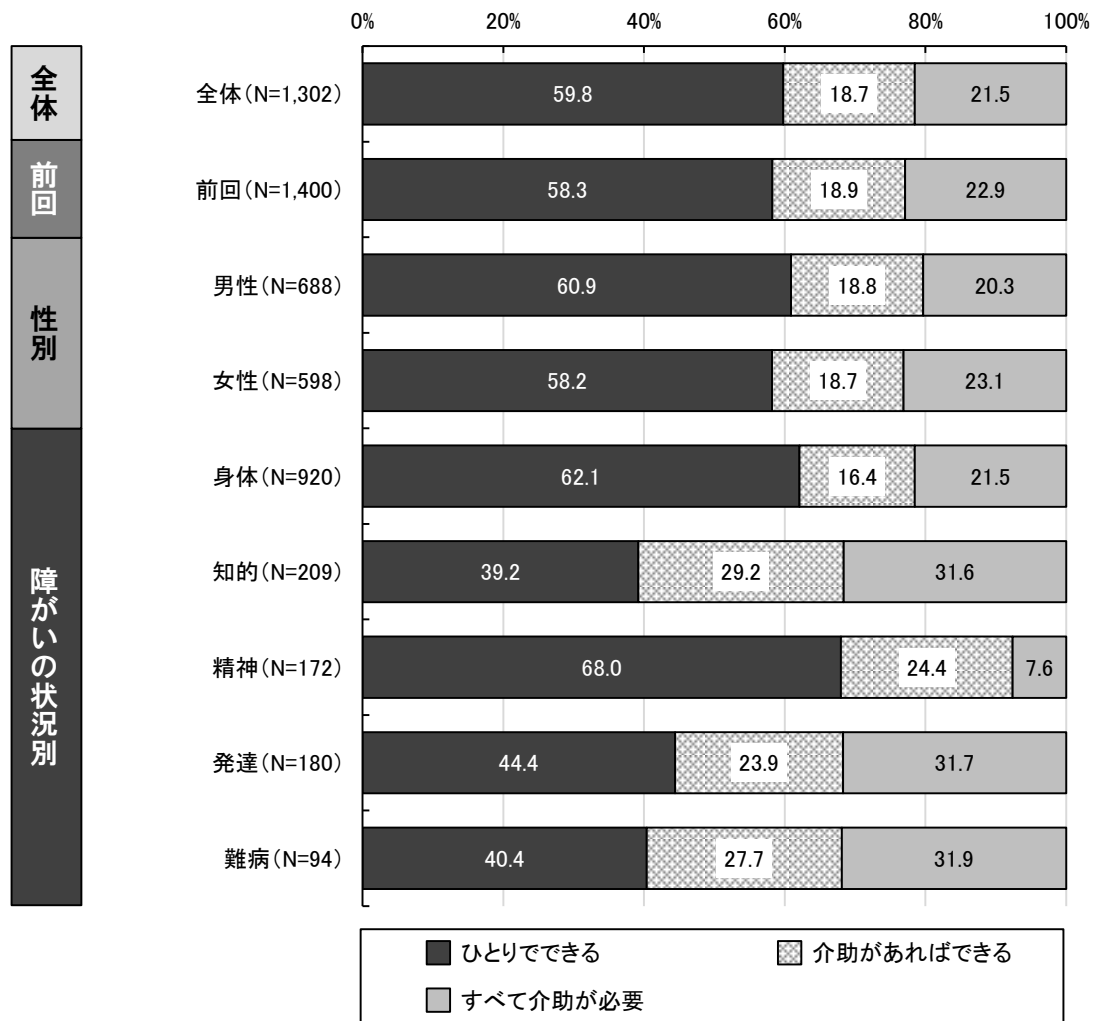
⑫普段使うものなどの買い物

普段使うものなどの買い物についてみると、全体では「ひとりでできる」が 59.8%と最も高く、次いで「すべて介助が必要」が 21.5%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。



問 10 あなたが主に介助してもらう人は誰ですか。(1 つに○)

主に介助してもらう人についてみると、全体では「同居の家族」が 62.5%と最も高く、次いで「介助してもらう人は必要ない」が 23.9%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、いずれも「同居の家族」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「同居の家族」が最も高くなっています。

単位：％

	同居の家族	別居の家族・親族	近所の人	民生委員・児童委員	ホームヘルパー	福祉施設・病院の職員	ボランティア	グループホームの職員
全体(N=1,253)	62.5	5.3	0.4	0.1	2.2	3.5	0.0	0.9
前回(N=1,320)	66.7	4.2	0.2	0.2	1.8	2.9	0.0	
男性(N=666)	63.5	3.9	0.3	0.2	2.1	2.7	0.0	1.1
女性(N=572)	61.5	6.5	0.5	0.0	2.1	4.5	0.0	0.7
身体(N=872)	60.3	6.1	0.3	0.0	2.3	4.2	0.0	0.3
知的(N=208)	79.3	4.3	1.0	0.0	2.4	0.5	0.0	2.9
精神(N=169)	58.6	4.7	0.0	0.6	2.4	3.6	0.0	0.6
発達(N=181)	79.6	5.5	0.6	0.0	1.1	1.1	0.0	1.7
難病(N=93)	67.7	8.6	0.0	0.0	3.2	7.5	0.0	0.0
	その他	介護が必要だが介助してもらう人がいない	介助してもらう人は必要ない					
全体(N=1,253)	0.9	0.4	23.9					
前回(N=1,320)	1.9	0.5	21.7					
男性(N=666)	0.9	0.5	24.9					
女性(N=572)	0.9	0.3	22.9					
身体(N=872)	0.8	0.2	25.3					
知的(N=208)	1.0	0.5	8.2					
精神(N=169)	1.2	1.2	27.2					
発達(N=181)	1.7	0.0	8.8					
難病(N=93)	0.0	0.0	12.9					

※「グループホームの職員」は今回調査のみの選択肢

問 10 で「同居の家族」、「別居の家族・親族」を選んだ方

問 10－1 あなたが介助してもらう人（介助者）について、不安や心配に感じていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

介助者について、不安や心配に感じていることについてみると、全体では「介助者の健康」が 67.0%と最も高く、次いで「介助者の体力面」が 31.4%となっています。

前回と比較すると、「緊急時の対応」が 5.8 ポイント増加しています。

性別にみると、「介助者の健康」では女性が男性より 6.9 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「介助者の健康」が最も高くなっています。

単位：％

	介助者の健康	介助者が高齢であること	代わりに介助を頼める人がいない	介助者が仕事に出かけられない	介助者が外出や旅行に出かけられない	介助者に休養や息抜きがない	緊急時の対応	介助者の経済面
全体(N=813)	67.0	30.3	26.1	8.1	13.5	13.7	29.3	21.4
前回(N=890)	64.3	29.4	24.6	9.4	14.3	12.2	23.5	21.2
男性(N=434)	63.8	30.0	25.6	7.6	13.6	14.3	30.0	21.7
女性(N=369)	70.7	31.2	26.3	8.9	13.8	12.7	28.2	21.1
身体(N=551)	69.7	30.9	25.0	8.5	15.2	14.2	28.3	18.0
知的(N=171)	57.3	21.6	29.2	9.9	11.1	10.5	33.9	22.2
精神(N=104)	69.2	43.3	27.9	7.7	11.5	15.4	26.9	40.4
発達(N=151)	54.3	19.2	29.1	11.3	13.2	15.2	33.8	27.2
難病(N=70)	68.6	31.4	37.1	10.0	17.1	27.1	41.4	25.7
	介助者の精神面	介助者の体力面	介助者の相談相手がいない	その他	特になし			
全体(N=813)	23.9	31.4	6.6	1.4	14.4			
前回(N=890)	23.5	34.2	6.1	1.8	16.3			
男性(N=434)	23.3	30.9	6.2	1.8	15.0			
女性(N=369)	23.8	32.0	7.0	0.8	13.8			
身体(N=551)	22.5	31.9	4.9	0.7	13.1			
知的(N=171)	17.0	25.7	6.4	2.3	21.6			
精神(N=104)	39.4	36.5	15.4	2.9	8.7			
発達(N=151)	21.2	33.1	6.0	2.6	22.5			
難病(N=70)	34.3	47.1	4.3	1.4	12.9			

問 10 で「同居の家族」、「別居の家族・親族」を選んだ方

問 10-2 あなたが介助してもらう人が、急病・事故・出産などのため一時的に介助ができなくなった場合、どうすることにしていますか。(あてはまるものすべてに○)

介助してもらう人が一時的に介助できなくなった場合についてみると、全体では「同居している家族などに頼む」が 42.4%と最も高く、次いで「親戚・知人に頼む」が 28.8%となっています。

前回と比較すると、「施設や病院などに一時的に依頼する」が 12.2 ポイント減少しています。

性別にみると、いずれも「同居している家族などに頼む」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「同居している家族などに頼む」が最も高くなっています。

単位: %

	同居している家族などに頼む	親戚・知人に頼む	近所の人に頼む	介助してもらう人を雇う	相談事業所に相談する	いつも利用している事業所に頼む	施設や病院などに一時的に依頼する	その他
全体(N=773)	42.4	28.8	3.4	4.4	15.8	12.7	21.5	2.2
前回(N=869)	40.4	25.7	4.0	4.8			33.7	6.7
男性(N=412)	44.7	28.2	2.9	3.9	16.5	11.9	20.9	2.4
女性(N=353)	40.2	30.0	4.0	5.1	15.0	13.6	22.1	2.0
身体(N=519)	39.9	27.7	4.0	5.4	15.8	12.7	24.1	2.1
知的(N=166)	56.6	34.9	2.4	3.6	16.3	16.3	18.7	2.4
精神(N=100)	37.0	22.0	1.0	0.0	14.0	7.0	8.0	2.0
発達(N=140)	51.4	30.7	0.7	2.9	16.4	17.9	19.3	2.1
難病(N=62)	43.5	32.3	6.5	4.8	14.5	11.3	25.8	0.0
	他に頼める人がいない	特に考えていない						
全体(N=773)	11.9	10.2						
前回(N=869)		16.8						
男性(N=412)	12.1	9.7						
女性(N=353)	11.3	10.8						
身体(N=519)	10.4	10.0						
知的(N=166)	10.8	8.4						
精神(N=100)	21.0	14.0						
発達(N=140)	12.9	10.0						
難病(N=62)	12.9	9.7						

※「相談事業所に相談する」「いつも利用している事業所に頼む」「他に頼める人がいない」は今回調査のみの選択肢

問 11 あなたが困った時に主に相談をする相手は誰ですか。(あてはまるもの5つまでに○)

困った時の相談相手についてみると、全体では「同居の家族」が74.9%と最も高く、次いで「別居の家族」が39.3%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、「別居の家族」では女性が男性より10.5ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「同居の家族」が最も高くなっています。

単位：%

	同居の家族	別居の家族	友人・知人	ホームヘルパー	職場の同僚・上司	学校の先生	医師・看護師などの専門職	近所の人	ボランティア	障がい者施設・作業所などの職員
全体(N=1,288)	74.9	39.3	23.1	5.4	7.4	4.2	25.5	6.1	0.5	9.7
前回(N=1,429)	75.6	36.5	19.0	6.2	3.6	5.6	26.7	6.2	0.6	10.9
男性(N=674)	75.8	34.3	22.0	4.2	9.3	4.9	25.1	5.2	0.7	10.1
女性(N=600)	74.3	44.8	24.5	6.7	5.3	3.5	25.7	7.0	0.2	9.5
身体(N=914)	73.1	46.6	23.0	5.8	6.0	1.8	26.4	6.8	0.4	5.7
知的(N=204)	84.3	20.6	17.2	7.8	12.3	18.6	9.3	4.4	1.0	24.0
精神(N=170)	73.5	24.1	30.6	4.1	8.8	0.0	36.5	7.1	1.2	18.2
発達(N=172)	83.7	22.1	22.7	5.2	11.0	18.6	19.2	2.9	1.2	25.0
難病(N=95)	73.7	47.4	24.2	8.4	5.3	4.2	35.8	5.3	0.0	10.5
	市役所・保健センターの職員	民生委員・児童委員	社会福祉協議会の職員	障がい者団体	就労や生活の支援(応援)センター	相談支援専門員	成年後見(保佐、補助)人	その他	特にいない	
全体(N=1,288)	16.8	4.5	4.5	1.8	4.5	7.7	0.3	3.4	4.0	
前回(N=1,429)	18.1	4.3	5.0	1.9	4.4			6.2	3.2	
男性(N=674)	17.2	4.0	5.3	2.5	6.5	8.2	0.6	3.0	4.7	
女性(N=600)	16.2	5.0	3.7	1.0	2.2	7.2	0.0	4.0	2.8	
身体(N=914)	16.7	5.4	5.4	1.9	1.9	6.5	0.2	3.4	4.2	
知的(N=204)	15.2	2.9	2.9	2.0	9.3	13.7	1.0	1.5	2.5	
精神(N=170)	20.6	4.1	2.9	1.2	15.3	8.8	0.0	5.3	3.5	
発達(N=172)	17.4	2.3	1.2	2.9	12.2	15.1	0.0	3.5	2.9	
難病(N=95)	29.5	7.4	4.2	2.1	4.2	9.5	0.0	3.2	2.1	

※「相談支援専門員」「成年後見(保佐、補助)人」は今回調査のみの選択肢

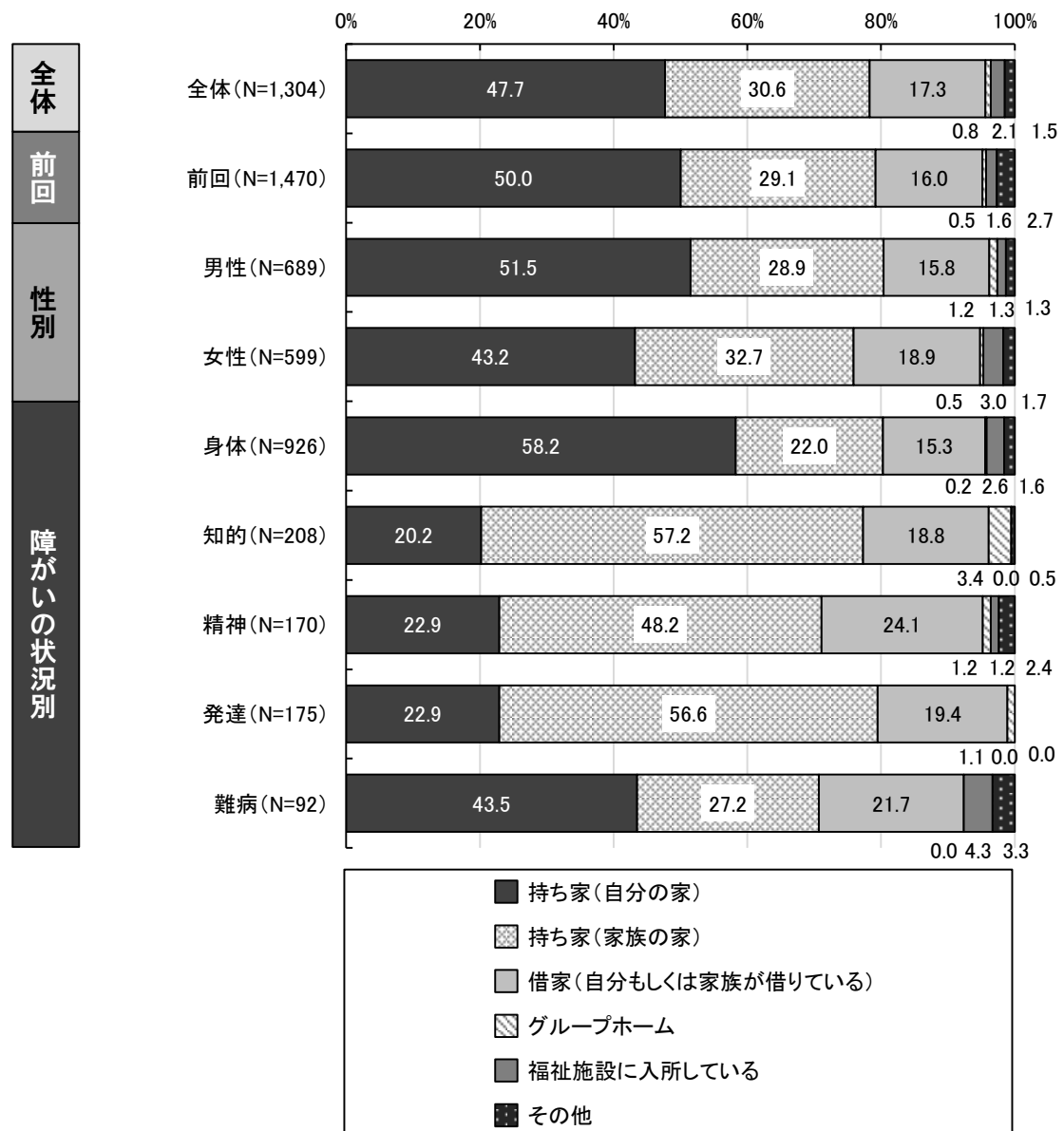
問 12 あなたの住まいの状況は次のどれにあたりますか。(1つに○)

住まいの状況についてみると、全体では「持ち家（自分の家）」が 47.7%と最も高く、次いで「持ち家（家族の家）」が 30.6%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、「持ち家（自分の家）」では男性が女性より 8.3 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、「身体」「難病」では「持ち家（自分の家）」、「知的」「精神」「発達」では「持ち家（家族の家）」がそれぞれ最も高くなっています。



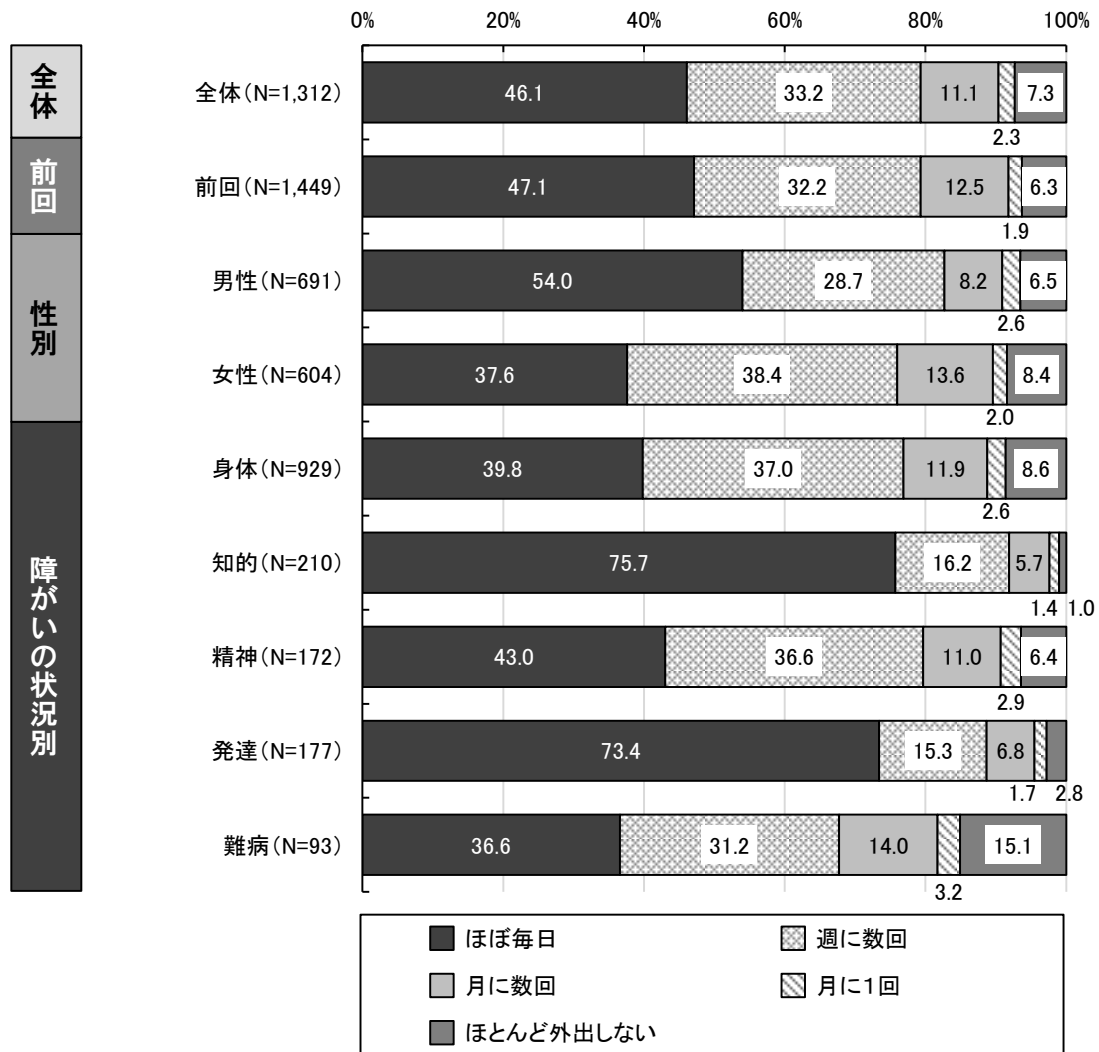
問 13 あなたの外出回数はどのくらいですか。(1つに○)

外出回数についてみると、全体では「ほぼ毎日」が 46.1%と最も高く、次いで「週に数回」が 33.2%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、男性では「ほぼ毎日」、女性では「週に数回」がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「ほぼ毎日」が最も高くなっています。



問 13 で「ほぼ毎日」、「週に数回」、「月に数回」、「月に 1 回」を選んだ方

問 13-1 もっとも外出回数が多い外出の目的は何ですか。(1 つに○)

最も外出回数が多い外出の目的についてみると、全体では「仕事(作業所、デイサービスも含む)」が 41.3%と最も高く、次いで「買い物・食事」が 25.5%となっています。

前回と比較すると、「仕事(作業所、デイサービスも含む)」が 14.0 ポイント増加しています。

性別にみると、「買い物・食事」では女性が男性より 13.1 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、「身体」「知的」「精神」「発達」では「仕事(作業所、デイサービスも含む)」、「難病」では「病院・医院」がそれぞれ最も高くなっています。

単位: %

	仕事(作業所、デイサービスも含む)	幼稚園・保育園・学校	病院・医院	買い物・食事	娯楽・スポーツ	知人の家	地域や障がいのある仲間の集まり	銀行・郵便局
全体(N=1,152)	41.3	7.0	16.6	25.5	4.8	0.4	0.8	0.3
前回(N=1,118)	27.3	8.9	16.9	26.4	5.2	0.6	1.8	0.4
男性(N=616)	47.2	9.3	15.4	19.3	4.9	0.3	0.6	0.2
女性(N=521)	34.7	4.6	17.9	32.4	4.6	0.6	1.0	0.6
身体(N=799)	35.2	4.1	21.2	28.7	5.9	0.6	0.9	0.4
知的(N=198)	61.1	22.7	3.0	8.1	3.0	0.0	0.0	0.5
精神(N=155)	47.1	1.3	11.6	31.0	2.6	0.0	1.3	0.0
発達(N=164)	56.1	25.0	5.5	7.3	1.2	0.0	1.2	0.6
難病(N=76)	25.0	13.2	30.3	23.7	0.0	1.3	1.3	0.0
	公共機関(市役所・保健センターなど)	旅行	その他					
全体(N=1,152)	0.3	0.0	3.0					
前回(N=1,118)	0.7	0.1	11.8					
男性(N=616)	0.2	0.0	2.6					
女性(N=521)	0.2	0.0	3.5					
身体(N=799)	0.3	0.0	2.9					
知的(N=198)	0.0	0.0	1.5					
精神(N=155)	0.6	0.0	4.5					
発達(N=164)	0.6	0.0	2.4					
難病(N=76)	0.0	0.0	5.3					

※今回調査の「仕事(作業所、デイサービスも含む)」は前回調査では「仕事」

今回調査の「幼稚園・保育園・学校」は前回調査では「学校」

今回調査の「公共機関(市役所・保健センターなど)」は前回調査では「公共機関」

問 13 で「ほぼ毎日」、「週に数回」、「月に数回」、「月に 1 回」を選んだ方

問 13-2 あなたが外出する時に利用する主な移動手段は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

外出時の主な移動手段についてみると、全体では「自家用車（乗せてもらう）」が 42.3%と最も高く、次いで「自家用車（自分で運転する）」が 34.0%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、男性では「自家用車（自分で運転する）」、女性では「自家用車（乗せてもらう）」がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、「身体」「知的」「発達」「難病」では「自家用車（乗せてもらう）」、「精神」では「自転車・バイク」がそれぞれ最も高くなっています。

	自家用車 (自分で運 転する)	自家用車 (乗せても らう)	徒歩・車い す・シニア カー	自転車・バ イク	路線バス (くりちゃん バス)	タクシー	介護タク シー	障がい福 祉サービス (移動支 援、行動援 護、同行援 護)
全体(N=1,185)	34.0	42.3	26.6	27.3	11.5	8.4	2.4	6.2
前回(N=1,302)	31.6	44.1	23.9	28.0	13.2	11.4	2.2	
男性(N=630)	39.2	35.2	26.5	31.7	9.8	6.3	2.9	6.0
女性(N=538)	28.1	50.6	26.6	22.7	13.2	10.2	1.5	6.3
身体(N=823)	40.6	41.7	23.3	21.5	12.0	10.4	2.8	5.1
知的(N=207)	6.3	49.8	33.8	42.5	7.2	2.4	1.0	14.5
精神(N=156)	28.2	35.3	34.6	44.2	15.4	9.0	1.3	1.9
発達(N=171)	8.8	55.6	34.5	40.4	5.8	0.6	0.6	10.5
難病(N=76)	28.9	56.6	26.3	13.2	9.2	6.6	5.3	2.6
	送迎サー ビス	電車	その他					
全体(N=1,185)		18.9	1.8					
前回(N=1,302)	9.0	18.9	18.9					
男性(N=630)		19.7	1.4					
女性(N=538)		18.0	2.2					
身体(N=823)		14.9	1.6					
知的(N=207)		26.6	3.4					
精神(N=156)		29.5	1.3					
発達(N=171)		29.8	2.9					
難病(N=76)		14.5	0.0					

※「障がい福祉サービス（移動支援、行動援護、同行援護）」は今回調査のみの選択肢
「送迎サービス」は前回調査のみの選択肢

問 14 あなたが外出する際に困ること、および問題があるため外出が難しくなっていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

外出する際に困ること、および問題があるため外出が難しくなっていることについてみると、全体では「特に困ることはない」が36.0%と最も高く、次いで「介助してもらおう人などがいないと外出が難しい」が28.3%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、「特に困ることはない」では男性が女性より10.1ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、「身体」「知的」「精神」では「特に困ることはない」、「発達」「難病」では「介助してもらおう人などがいないと外出が難しい」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：％

	介助してもらおう人などがいないと外出が難しい	外出中、困ったことがあったときに介助してくれる人がいない	道路、公共交通機関、施設などがバリアフリーに改善されていない	道路や歩道に電柱、放置自転車などの障がい物が多く危ない	手話通訳者・要約筆記者がいないため、会話するのが難しい	障がい者の用トイレが整備されていない	外出に必要な情報が得られない(駐車場の案内図や点字マップの配置場所など)	障がい者の用駐車場に一般車両が駐車している
全体(N=1,189)	28.3	14.2	10.7	7.3	2.0	9.5	2.1	13.7
前回(N=1,325)	29.0	13.9	11.5	5.8	2.0	10.1	2.4	14.5
男性(N=639)	26.3	13.1	10.0	6.9	1.7	9.7	2.0	13.0
女性(N=536)	30.4	15.5	11.4	7.8	2.4	9.5	2.2	14.6
身体(N=842)	28.3	13.4	13.9	9.4	2.7	12.6	2.7	18.6
知的(N=190)	37.4	18.4	3.7	3.7	0.0	2.6	0.5	1.1
精神(N=160)	17.5	15.0	2.5	2.5	1.3	1.3	1.3	1.9
発達(N=162)	35.8	19.1	5.6	4.3	1.2	4.9	2.5	8.6
難病(N=89)	41.6	27.0	16.9	15.7	2.2	15.7	6.7	16.9
	視覚・聴覚に障がいのある人に配慮した案内表示やアナウンスなどのサービスが適切でない	他人の視線が気になる	交通手段(車など)がない	外出したい気持ちにならない	その他	特に困ることはない		
全体(N=1,189)	4.6	9.8	11.4	11.4	6.6	36.0		
前回(N=1,325)	3.6	10.3	9.6	10.3	7.5	35.1		
男性(N=639)	4.4	8.9	10.0	9.9	5.9	40.7		
女性(N=536)	5.0	10.6	12.5	13.1	7.1	30.6		
身体(N=842)	6.2	6.8	11.4	9.7	6.4	35.7		
知的(N=190)	0.0	6.8	11.6	5.3	2.6	38.4		
精神(N=160)	1.3	29.4	15.0	28.1	11.3	32.5		
発達(N=162)	1.2	17.3	11.7	8.6	9.9	31.5		
難病(N=89)	10.1	12.4	22.5	18.0	11.2	20.2		

問 15 障がいがある人の閉じこもりを防ぎ、社会参加を促すために、どのようなことが重要だと思いますか。（あてはまるもの3つまでに○）

障がいがある人の閉じこもりを防ぎ、社会参加を促すために重要なことについてみると、全体では「いっしょに活動する仲間をつくること」が56.5%と最も高く、次いで「集まれる場所をつくること」が41.2%となっています。

性別にみると、いずれも「いっしょに活動する仲間をつくること」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「いっしょに活動する仲間をつくること」が最も高くなっています。

単位：％

	いっしょに活動する仲間をつくること	障がい者団体の活動を活発にすること	活動の指導者を育てること	集まれる場所をつくること	外出するために必要な情報が簡単に手に入る	地域の人々の偏見をなくし、理解を得ること	その他	わからない
全体(N=1,210)	56.5	19.5	15.6	41.2	27.1	27.8	3.1	18.0
男性(N=647)	57.7	20.7	16.8	40.5	29.2	28.9	3.2	17.0
女性(N=550)	55.1	18.0	14.4	42.0	24.5	26.4	2.9	19.5
身体(N=847)	56.7	17.7	14.8	40.7	30.8	25.4	2.6	17.4
知的(N=201)	60.7	23.4	18.9	44.3	16.9	33.8	4.0	17.9
精神(N=165)	49.1	20.0	15.8	37.6	19.4	32.1	4.8	23.6
発達(N=170)	62.4	22.4	21.2	48.8	24.7	37.6	5.3	11.8
難病(N=88)	59.1	23.9	13.6	38.6	30.7	34.1	3.4	15.9

3 就労・就学について

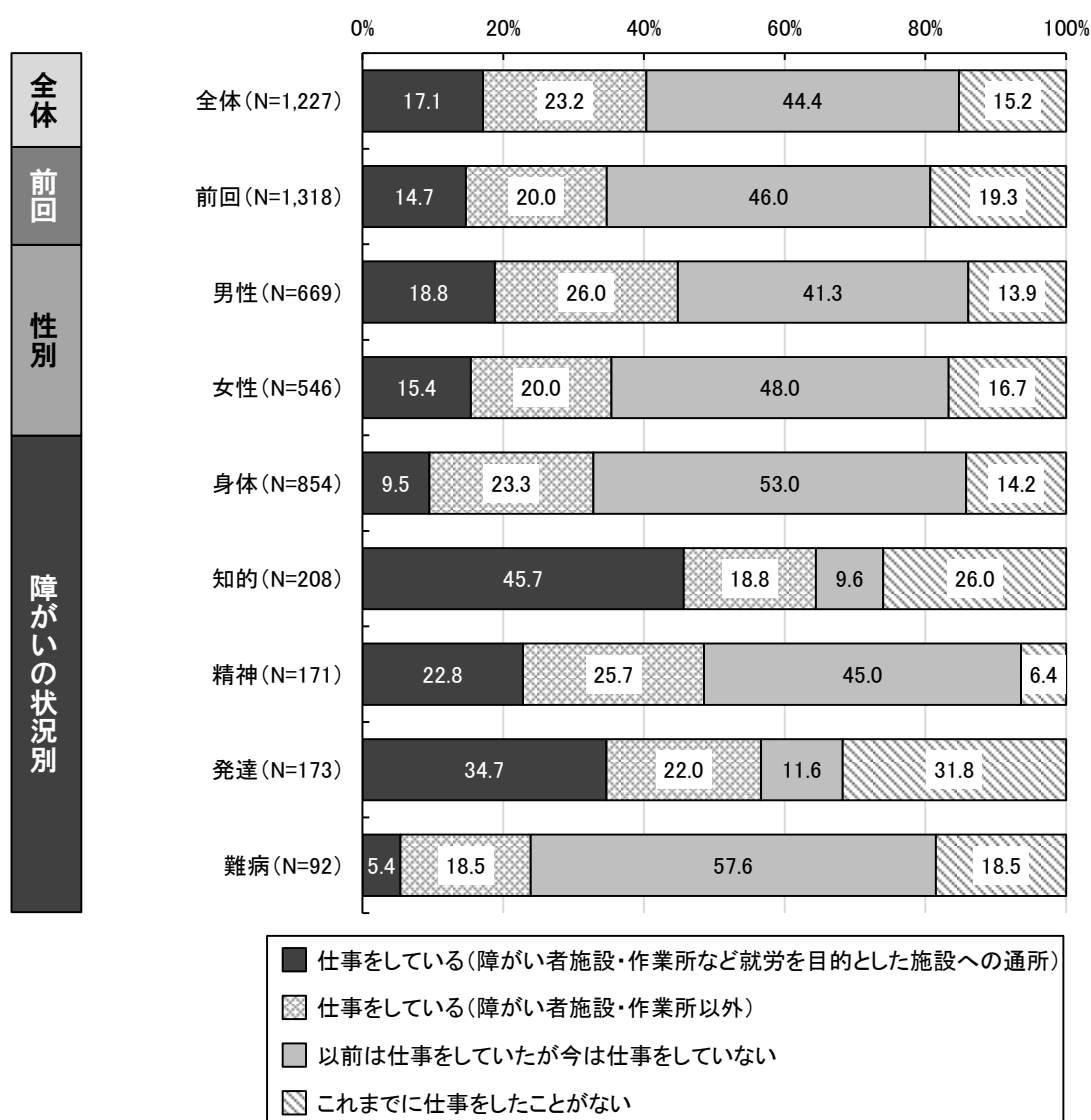
問 16 あなたは現在、仕事（ここでは作業所への通所も含みます）をしていますか。（1つに○）

仕事をしているかについてみると、全体では「以前は仕事をしていたが今は仕事をしていない」が 44.4%と最も高く、次いで「仕事をしている（障がい者施設・作業所以外）」が 23.2%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、「以前は仕事をしていたが今は仕事をしていない」では女性が男性より 6.7 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、「身体」「精神」「難病」では「以前は仕事をしていたが今は仕事をしていない」、「知的」「発達」では「仕事をしている（障がい者施設・作業所など就労を目的とした施設への通所）」がそれぞれ最も高くなっています。



※今回調査の「仕事をしている（障がい者施設・作業所など就労を目的とした施設への通所）」は前回調査では「仕事をしている（障がい者施設・作業所などへの通所）」

問 16 で「仕事をしている（障がい者施設・作業所など就労を目的とした施設への通所）」、「仕事
をしている（障がい者施設・作業所以外）」を選んだ方

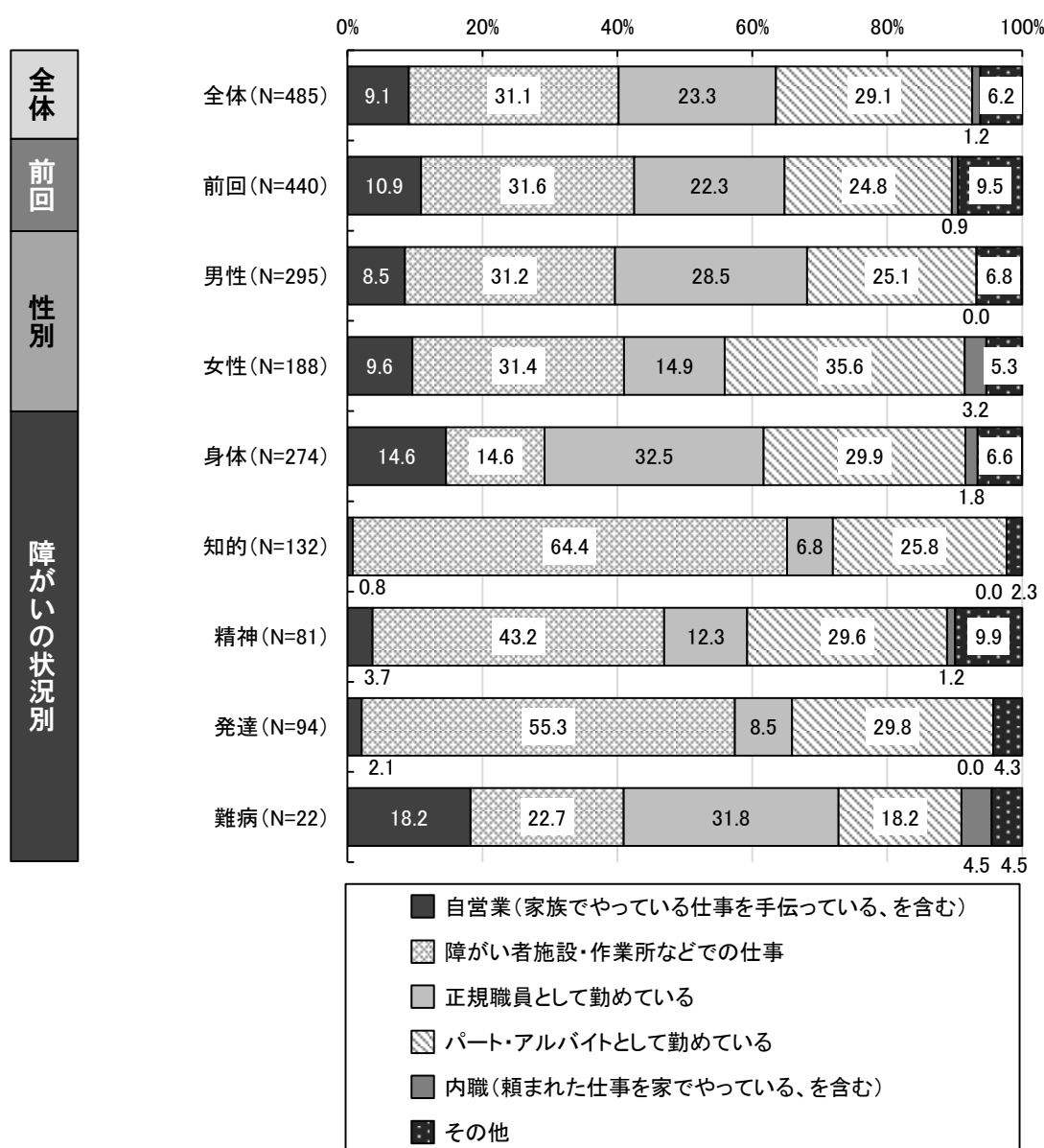
問 16－1 現在している仕事は何ですか。（1つに○）

現在している仕事についてみると、全体では「障がい者施設・作業所などでの仕事」が 31.1%と
最も高く、次いで「パート・アルバイトとして勤めている」が 29.1%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、男性では「障がい者施設・作業所などでの仕事」、女性では「パート・アルバイト
として勤めている」がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、「身体」「難病」では「正規職員として勤めている」、「知的」「精神」「発
達」では「障がい者施設・作業所などでの仕事」がそれぞれ最も高くなっています。



問 16 で「仕事をしている（障がい者施設・作業所など就労を目的とした施設への通所）」、「仕事をしている（障がい者施設・作業所以外）」を選んだ方

問 16-2 現在している仕事について不安や不満はありますか。（あてはまるもの 3 つまでに○）

現在している仕事への不安や不満についてみると、全体では「特にない」が 37.3%と最も高く、次いで「給料（お金）が少ない」が 29.5%となっています。

前回と比較すると、「リストラにあわないか不安である」が 6.6 ポイント増加しています。

性別にみると、「仕事の将来性がない」では男性が女性より 9.2 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、「身体」「難病」では「特にない」、「知的」「精神」「発達」では「給料（お金）が少ない」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：％

	職場に通うのが大変である	障がいや病気の状況にあっていない	今までの経験や技術が活かされていない	職場の設備や道具などが使いにくい	職場の人との関係がよくない	仕事の将来性がない	給料（お金）が少ない	仕事の時間が長い
全体(N=421)	9.3	5.2	3.6	2.1	8.8	10.9	29.5	7.8
前回(N=371)	11.1	3.0	3.0	3.2	4.3	10.2	28.6	5.7
男性(N=253)	8.3	4.7	4.3	2.0	7.9	14.6	31.6	7.1
女性(N=166)	10.8	6.0	2.4	2.4	10.2	5.4	25.9	8.4
身体(N=225)	8.9	5.8	1.8	2.7	6.7	8.4	24.4	12.0
知的(N=121)	9.1	3.3	3.3	1.7	7.4	7.4	37.2	1.7
精神(N=77)	10.4	6.5	7.8	2.6	15.6	18.2	33.8	3.9
発達(N=94)	11.7	6.4	7.4	2.1	12.8	10.6	37.2	4.3
難病(N=17)	23.5	0.0	5.9	0.0	5.9	5.9	29.4	5.9
	障がいに対する思いやりや気づかいが少ない	職場の雇用形態が不安定である	現在利用している障がい者施設・作業所などが今後も利用できるか不安である	リストラにあわないか不安である	その他	特にない		
全体(N=421)	9.3	7.6	10.9	15.2	5.2	37.3		
前回(N=371)	8.1	8.1	11.1	8.6	5.1	42.0		
男性(N=253)	8.7	6.3	10.7	15.8	3.2	39.1		
女性(N=166)	10.2	9.6	11.4	13.9	8.4	34.9		
身体(N=225)	9.3	5.8	4.4	12.4	6.7	44.9		
知的(N=121)	7.4	5.0	25.6	12.4	1.7	31.4		
精神(N=77)	11.7	18.2	9.1	26.0	5.2	27.3		
発達(N=94)	9.6	8.5	18.1	16.0	2.1	28.7		
難病(N=17)	11.8	5.9	5.9	5.9	0.0	35.3		

※今回調査の「職場の雇用形態が不安定である」は前回調査では「職場の身分が不安定である」

今回調査の「現在利用している障がい者施設・作業所などが今後も利用できるか不安である」は前回調査では「現在利用している障がい者施設・作業所などが利用できなくなるのが不安である」

問 16 で「仕事をしている（障がい者施設・作業所など就労を目的とした施設への通所）」、「仕事をしている（障がい者施設・作業所以外）」を選んだ方

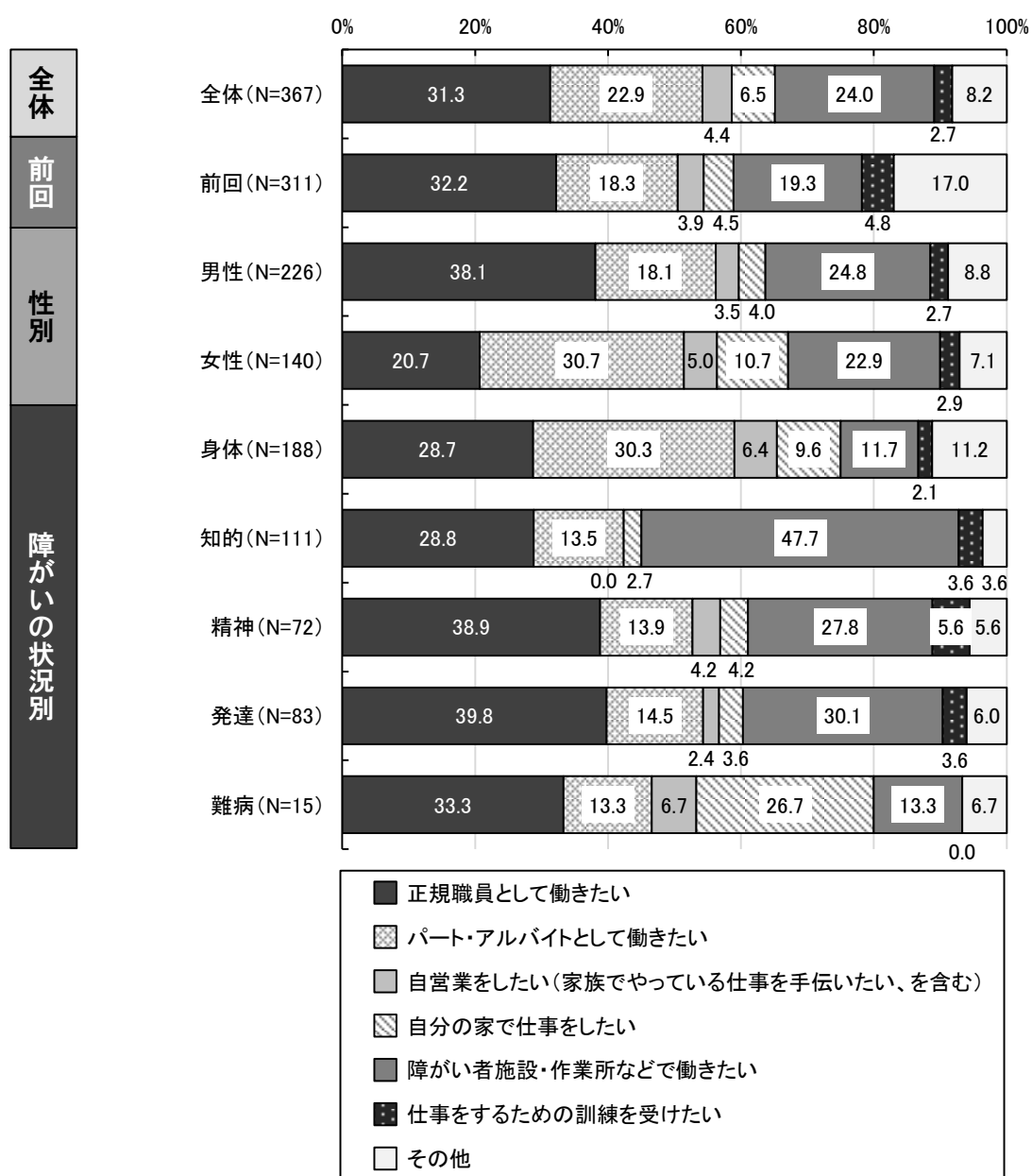
問 16－3 今後の仕事についてどのようにお考えですか。（1 つに○）

今後の仕事についての考えについてみると、全体では「正規職員として働きたい」が 31.3%と最も高く、次いで「障がい者施設・作業所などで働きたい」が 24.0%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、男性では「正規職員として働きたい」、女性では「パート・アルバイトとして働きたい」がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、「身体」では「パート・アルバイトとして働きたい」、「知的」では「障がい者施設・作業所などで働きたい」、「精神」「発達」「難病」では「正規職員として働きたい」がそれぞれ最も高くなっています。



問 16 で「以前は仕事をしていたが今は仕事をしていない」を選んだ方

問 16-4 仕事を辞めた理由は何ですか。(あてはまるもの5つまでに○)

仕事を辞めた理由についてみると、全体では「定年退職や雇用期間の満了、結婚、引っ越しなどがあったから」が 41.8%と最も高く、次いで「障がいが重くなり、仕事を続けられなくなったから」が 28.6%となっています。

前回と比較すると、「病気がちになったから」が 9.3 ポイント増加しています。

性別にみると、「定年退職や雇用期間の満了、結婚、引っ越しなどがあったから」では男性が女性より 16.6 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、「身体」では「定年退職や雇用期間の満了、結婚、引っ越しなどがあったから」、「知的」では「職場の人とのコミュニケーションがうまくとれなかったから」、「精神」では「病気がちになったから」、「発達」では「障がいを理解してもらえず、職場の人からいやな思いをさせられたから」、「難病」では「障がいが重くなり、仕事を続けられなくなったから」がそれぞれ最も高くなっています。

単位: %

	もっと希望 にあう職場 が見つかったから	病気がちにな ったから	障がい が重くなり、 仕事を続け られなくな ったから	リストラに あったから	仲間がで きず、孤独 だったから	職場の人と のコミュニ ケーション がうまくと れなかった から	障がいを理 解してもら えず、職場 の人からい やな思いを させられた から	仕事をする 日数や時 間希望が より長か ったから
全体(N=469)	1.1	27.3	28.6	5.5	3.8	8.1	6.8	3.0
前回(N=532)	0.8	18.0	25.6	6.6	1.7	4.1	3.4	2.8
男性(N=243)	1.2	22.2	29.2	7.0	3.3	7.4	6.6	2.1
女性(N=220)	0.9	32.3	28.2	4.1	4.5	9.1	6.8	3.6
身体(N=387)	1.3	23.8	27.4	3.9	1.6	4.1	3.9	2.3
知的(N=15)	0.0	26.7	6.7	0.0	13.3	46.7	26.7	6.7
精神(N=67)	0.0	49.3	46.3	14.9	16.4	26.9	22.4	6.0
発達(N=17)	0.0	23.5	5.9	0.0	29.4	35.3	41.2	5.9
難病(N=46)	0.0	41.3	54.3	4.3	0.0	0.0	8.7	8.7
	仕事をする 日数や時 間希望が より短か ったから	障がい にあった 仕事を やらせ てもら えな かった から	やりがい のある 仕事を やらせ てもら えな かった から	職場の 設備や 道具 などが 使い にく かった から	給料や ボナ ス、保 険な どの 条件 が悪 かった から	定年退 職や 雇用 期 間の 満 了、 結 婚、 引 っ 越 し な ど が あ っ た か ら	その他	
全体(N=469)	1.1	4.7	2.8	2.6	3.6	41.8	14.9	
前回(N=532)	0.8	2.1	1.7	1.5	2.1	43.0	23.1	
男性(N=243)	1.2	5.8	4.1	2.9	4.5	49.8	11.1	
女性(N=220)	0.9	3.2	1.4	2.3	2.3	33.2	18.6	
身体(N=387)	0.8	4.1	1.6	2.1	2.1	48.1	14.7	
知的(N=15)	0.0	13.3	13.3	6.7	20.0	6.7	20.0	
精神(N=67)	3.0	6.0	7.5	4.5	13.4	7.5	14.9	
発達(N=17)	5.9	11.8	17.6	11.8	23.5	5.9	29.4	
難病(N=46)	0.0	8.7	2.2	6.5	0.0	28.3	8.7	

※今回調査の「病気がちになったから」は前回調査では「疲れて病気がちになったから」

問 16 で「以前は仕事をしていたが今は仕事をしていない」、「これまでに仕事をしたことがない」を選んだ方

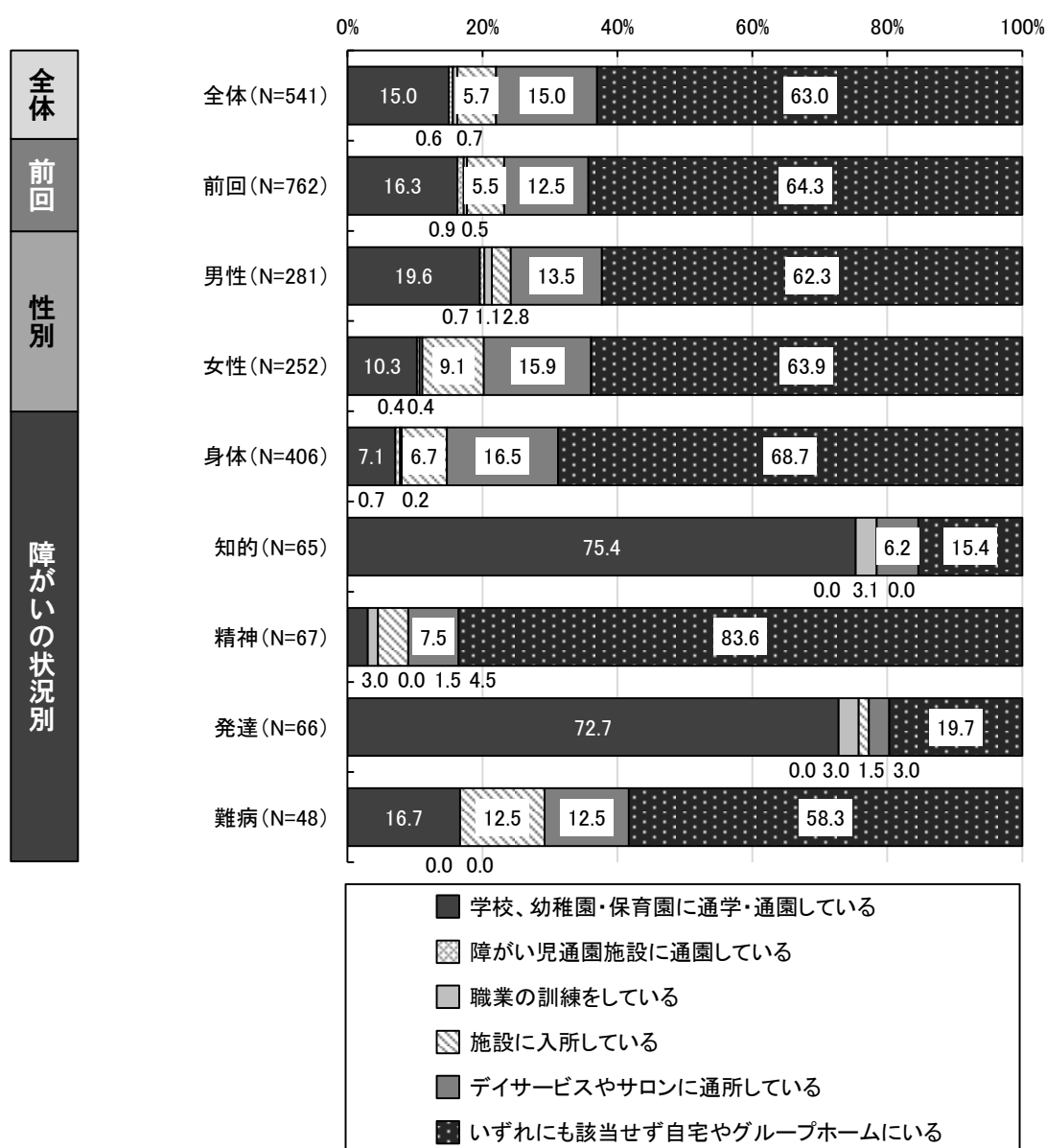
問 16-5 あなたは現在何をしていますか。(1つに○)

現在何をしているかについてみると、全体では「いずれにも該当せず自宅やグループホームにいる」が 63.0%と最も高く、次いで「学校、幼稚園・保育園に通学・通園している」「デイサービスやサロンに通所している」がともに 15.0%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、「学校、幼稚園・保育園に通学・通園している」では男性が女性より 9.3 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、「身体」「精神」「難病」では「いずれにも該当せず自宅やグループホームにいる」、「知的」「発達」では「学校、幼稚園・保育園に通学・通園している」がそれぞれ最も高くなっています。



※今回調査の「いずれにも該当せず自宅やグループホームにいる」は前回調査では「いずれにも該当せず自宅にいる」

今回調査の「施設に入所している」は前回調査では「福祉施設に入所している・病院に入院している」

問 16-5 で「学校、幼稚園・保育園に通学・通園している」、「障がい児通園施設に通園している」、「職業の訓練をしている」を選んだ方

問 16-5-1 困っていること、および将来不安に思っていることは何かありますか。

(あてはまるものすべてに○)

困っていること、および将来不安に思っていることについてみると、全体では「園や学校が遠い」が 41.5%と最も高く、次いで「授業についていけない」「放課後・学校休日に遊べる友だちがいない」「特にない」がともに 20.7%となっています。

前回と比較すると、「園や学校が遠い」が 12.6 ポイント増加しています。

性別にみると、「特にない」では男性が女性より 15.2 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、「身体」「知的」「発達」では「園や学校が遠い」がともに最も高くなっています。

単位: %

	園や学校 が遠い	授業につ いていけ ない	先生の理 解が足り ない	通常クラス に入れて もらえない	受け入れ てくれる 学校が少 ない	トイレな どの設備 が配慮さ れていな い	学校内・園 内での手 助けが十 分でない	放課後・学 校休日に 遊べる友 だちがい ない
全体(N=82)	41.5	20.7	9.8	2.4	9.8	4.9	4.9	20.7
前回(N=128)	28.9	15.6	13.3	6.3	7.8	7.0	9.4	26.6
男性(N=54)	42.6	22.2	13.0	3.7	14.8	1.9	5.6	24.1
女性(N=28)	39.3	17.9	3.6	0.0	0.0	10.7	3.6	14.3
身体(N=31)	41.9	19.4	12.9	6.5	16.1	9.7	12.9	16.1
知的(N=48)	43.8	20.8	6.3	0.0	6.3	2.1	0.0	25.0
精神(N=3)	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達(N=46)	37.0	17.4	6.5	2.2	8.7	6.5	0.0	23.9
難病(N=8)	37.5	12.5	0.0	12.5	12.5	25.0	0.0	25.0
	放課後に 過ごせる 場所がない	通学・通園 手段が不 完全(ない)	技術が習 得できない	その他	特にない			
全体(N=82)	13.4	3.7	6.1	18.3	20.7			
前回(N=128)	13.3	5.5	7.8	12.5	29.7			
男性(N=54)	9.3	1.9	7.4	13.0	25.9			
女性(N=28)	21.4	7.1	3.6	28.6	10.7			
身体(N=31)	16.1	3.2	0.0	19.4	19.4			
知的(N=48)	12.5	4.2	10.4	16.7	20.8			
精神(N=3)	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3			
発達(N=46)	13.0	2.2	6.5	15.2	19.6			
難病(N=8)	25.0	0.0	0.0	25.0	12.5			

問 16－5 で「学校、幼稚園・保育園に通学・通園している」、「障がい児通園施設に通園している」、「職業の訓練をしている」を選んだ方

問 16－5－2 卒園・卒業後のことについて何かお考えですか。（1 つに○）

卒園・卒業後のことについてみると、全体では「障がい者施設・作業所などに通所したい」が 30.4% と最も高く、次いで「地域の小学校、中学校、高校に進学したい」が 24.1% となっています。

前回と比較すると、「障がい者施設・作業所などに通所したい」が 9.7 ポイント増加しています。

性別にみると、男性では「地域の小学校、中学校、高校に進学したい」、女性では「障がい者施設・作業所などに通所したい」がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、「身体」「知的」「発達」では「障がい者施設・作業所などに通所したい」がともに最も高くなっています。

単位：％

	地域の小学校、中学校、高校に進学したい	特別支援学校などに進学したい	大学・専門学校などに進学したい	障がい者施設・作業所などに通所したい	福祉施設に入所したい	就職したい	その他	特に考えていない
全体(N=79)	24.1	22.8	2.5	30.4		13.9	3.8	2.5
前回(N=116)	31.0	20.7	6.0	20.7	3.4	7.8	5.2	5.2
男性(N=53)	26.4	20.8	1.9	24.5		17.0	5.7	3.8
女性(N=26)	19.2	26.9	3.8	42.3		7.7	0.0	0.0
身体(N=31)	25.8	25.8	3.2	35.5		3.2	0.0	6.5
知的(N=45)	24.4	22.2	2.2	28.9		15.6	6.7	0.0
精神(N=3)	0.0	0.0	0.0	0.0		100.0	0.0	0.0
発達(N=43)	23.3	23.3	2.3	34.9		11.6	2.3	2.3
難病(N=8)	37.5	0.0	0.0	62.5		0.0	0.0	0.0

※「福祉施設に入所したい」は前回調査のみの選択肢

問 16-5 で「いずれにも該当せず自宅やグループホームにいる」を選んだ方

問 16-5-3 自宅やグループホームにいる主な理由は何ですか。(1つに○)

自宅やグループホームにいる主な理由についてみると、全体では「高齢のため」が 42.2%と最も高く、次いで「仕事ができる健康状態にないため」が 26.9%となっています。

前回と比較すると、「高齢のため」が 10.4 ポイント減少しています。

性別にみると、「障がいや病気の状況にあった仕事がないため」では男性が女性より 8.0 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、「身体」では「高齢のため」、「精神」「難病」では「仕事ができる健康状態にないため」、「発達」では「障がいや病気の状況にあった仕事がないため」がそれぞれ最も高くなっています。

単位: %

	幼稚園・保育園、学校に通う年齢に達していないため	幼稚園・保育園、学校に通う健康状態にないため	入所・通所できる施設がないため	障がいや病気の状況にあった仕事がないため	仕事ができる健康状態にないため	高齢のため	家事を手伝うため	移動・交通手段がないため
全体(N=294)	0.3	0.0	1.7	8.5	26.9	42.2	7.1	0.0
前回(N=388)	1.0	0.0	0.0	8.2	22.9	52.6	3.4	0.8
男性(N=148)	0.7	0.0	2.0	12.2	30.4	38.5	3.4	0.0
女性(N=142)	0.0	0.0	1.4	4.2	23.2	45.8	11.3	0.0
身体(N=236)	0.4	0.0	1.3	5.1	23.7	50.0	7.6	0.0
知的(N=9)	0.0	0.0	22.2	33.3	0.0	11.1	0.0	0.0
精神(N=52)	0.0	0.0	1.9	21.2	46.2	7.7	7.7	0.0
発達(N=11)	0.0	0.0	18.2	36.4	0.0	0.0	9.1	0.0
難病(N=23)	0.0	0.0	0.0	8.7	39.1	30.4	8.7	0.0
	その他	働きたくないため						
全体(N=294)	9.5	3.7						
前回(N=388)	8.5	2.6						
男性(N=148)	8.1	4.7						
女性(N=142)	11.3	2.8						
身体(N=236)	10.2	1.7						
知的(N=9)	22.2	11.1						
精神(N=52)	5.8	9.6						
発達(N=11)	27.3	9.1						
難病(N=23)	13.0	0.0						

問 16-5 で「いずれにも該当せず自宅やグループホームにいる」を選んだ方

問 16-5-4 今後の就労や就学についてどのようにお考えですか。(1つに○)

今後の就労や就学についての考えについてみると、全体では「働く気や進学する気にならない」が 19.1%と最も高く、次いで「自宅で仕事をしたい」が 18.1%となっています。

前回と比較すると、「働いたり進学することができない」が 12.1 ポイント減少しています。

性別にみると、男性では「自宅で仕事をしたい」「働いたり進学することができない」、女性では「働く気や進学する気にならない」がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、「身体」では「働いたり進学することができない」、「精神」では「働く気や進学する気にならない」がそれぞれ最も高くなっています。

単位: %

	正規職員として働きたい	パート・アルバイトとして働きたい	自営業をしたい(家族でやっている仕事を手伝えたい、を含む)	自宅で仕事をしたい	障がい者施設・作業所等で働きたい	仕事をするための訓練を受けたい	地域の学校に進学したい	特別支援学校などに進学したい
全体(N=94)	10.6	16.0	0.0	18.1	6.4	1.1	0.0	0.0
前回(N=285)	3.5	10.2	1.4	8.8	2.8	1.1	1.4	0.4
男性(N=50)	14.0	14.0	0.0	18.0	8.0	2.0	0.0	0.0
女性(N=42)	7.1	19.0	0.0	16.7	4.8	0.0	0.0	0.0
身体(N=59)	11.9	11.9	0.0	20.3	1.7	1.7	0.0	0.0
知的(N=4)	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
精神(N=34)	11.8	23.5	0.0	14.7	11.8	0.0	0.0	0.0
発達(N=7)	0.0	28.6	0.0	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0
難病(N=5)	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	大学・専門学校などに進学したい	働く気や進学する気にならない	その他	働いたり進学することができない				
全体(N=94)	1.1	19.1	12.8	14.9				
前回(N=285)	0.4	12.3	30.9	27.0				
男性(N=50)	0.0	16.0	10.0	18.0				
女性(N=42)	2.4	23.8	14.3	11.9				
身体(N=59)	1.7	15.3	13.6	22.0				
知的(N=4)	0.0	0.0	25.0	0.0				
精神(N=34)	0.0	26.5	8.8	2.9				
発達(N=7)	0.0	0.0	28.6	0.0				
難病(N=5)	0.0	20.0	0.0	40.0				

問 17 あなたが就労をしたり働き続けるためには、どのような支援が必要だと思いますか。

(あてはまるもの3つまでに○)

就労をしたり働き続けるために必要な支援についてみると、全体では「特にない」が 38.7%と最も高く、次いで「就労に関する総合相談」が 32.1%となっています。

前回と比較すると、「就労に関する総合相談」が 6.7 ポイント増加しています。

性別にみると、「就職先のあつ旋・紹介」では男性が女性より 15.0 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、「身体」では「特にない」、「精神」では「就労に関する総合相談」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：％

	就労に関する総合相談	働きやすい職場環境づくりの指導	就労のための職業訓練	就職先のあつ旋・紹介	就職後の支援・相談	段差やしきりをなくすなど、設備を利用しやすくする	障がい者用トイレや障がい者用駐車場の設置	道路や公共交通機関など、移動しやすくする
全体(N=137)	32.1	29.9	8.8	24.1	24.8	8.0	8.8	9.5
前回(N=934)	25.4	23.4	12.5	17.6	22.2	7.1	7.5	11.8
男性(N=76)	32.9	31.6	7.9	30.3	22.4	7.9	5.3	2.6
女性(N=59)	32.2	25.4	8.5	15.3	27.1	8.5	13.6	16.9
身体(N=89)	25.8	25.8	5.6	23.6	22.5	12.4	13.5	10.1
知的(N=7)	71.4	42.9	14.3	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0
精神(N=45)	44.4	35.6	15.6	26.7	33.3	2.2	0.0	13.3
発達(N=10)	70.0	50.0	20.0	30.0	50.0	0.0	0.0	0.0
難病(N=10)	60.0	20.0	10.0	50.0	50.0	10.0	10.0	10.0
	その他	特にない						
全体(N=137)	2.9	38.7						
前回(N=934)	12.7	35.1						
男性(N=76)	3.9	39.5						
女性(N=59)	0.0	39.0						
身体(N=89)	1.1	40.4						
知的(N=7)	14.3	28.6						
精神(N=45)	4.4	28.9						
発達(N=10)	10.0	20.0						
難病(N=10)	0.0	20.0						

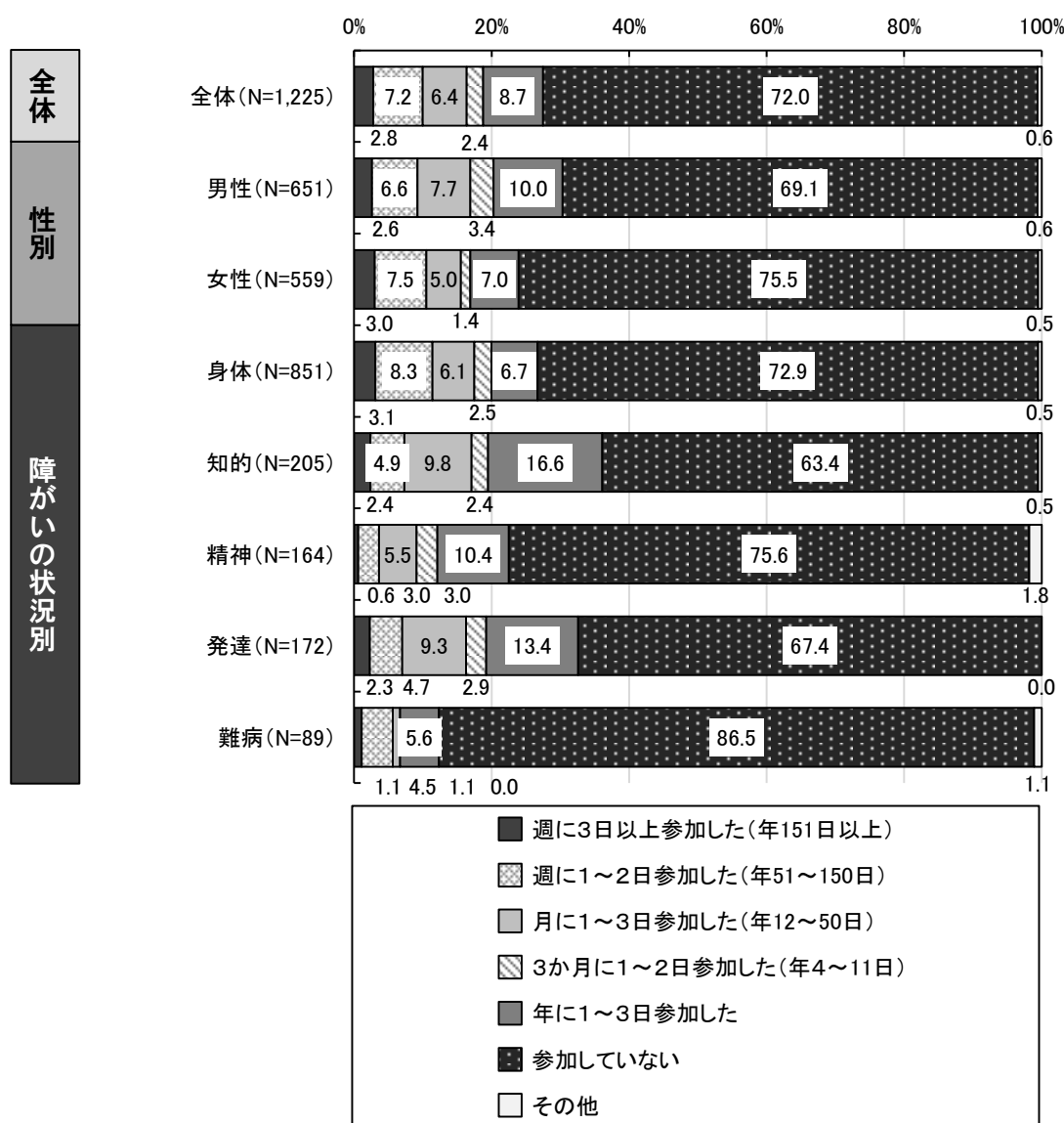
4 スポーツ・レクリエーションのことについて

問 18 あなたは、過去1年間にスポーツ・レクリエーションに参加しましたか。(1つに○)

過去1年間のスポーツ・レクリエーションの参加頻度についてみると、全体では「参加していない」が72.0%と最も高く、次いで「年に1～3日参加した」が8.7%となっています。

性別にみると、「参加していない」では女性が男性より6.4ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「参加していない」が最も高くなっています。



問 19 あなたが、今後やってみたいスポーツ・レクリエーションはどういったものですか。
(あてはまるものすべてに○)

今後やってみたいスポーツ・レクリエーションについてみると、全体では「健康維持のためのスポーツ・レクリエーション」が41.0%と最も高く、次いで「スポーツ・レクリエーションをやってみたいと思わない」が33.3%となっています。

性別にみると、いずれも「健康維持のためのスポーツ・レクリエーション」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、「身体」「知的」「難病」では「健康維持のためのスポーツ・レクリエーション」、「精神」では「スポーツ・レクリエーションをやってみたいと思わない」、「発達」では「体力づくりのためのスポーツ・レクリエーション」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：％

	パラスポーツのような競技スポーツ	体力づくりのためのスポーツ・レクリエーション	健康維持のためのスポーツ・レクリエーション	自分自身の生きがいのためのスポーツ・レクリエーション	障がいの有無にかかわらず交流のためのスポーツ・レクリエーション	その他	スポーツ・レクリエーションをやってみたいと思わない
全体(N=1,094)	5.2	24.3	41.0	24.5	15.3	3.6	33.3
男性(N=593)	6.4	25.5	39.5	26.0	16.2	4.4	31.2
女性(N=491)	3.9	23.2	43.6	22.8	14.1	2.6	35.4
身体(N=742)	4.7	21.2	43.1	23.0	15.1	3.4	32.6
知的(N=196)	9.2	33.7	34.2	29.1	17.3	4.1	29.1
精神(N=157)	4.5	26.8	38.9	28.7	12.1	3.2	42.7
発達(N=163)	7.4	35.0	31.9	31.9	22.1	4.3	26.4
難病(N=81)	7.4	17.3	40.7	24.7	12.3	3.7	37.0

問 20 あなたが、スポーツ・レクリエーションへ参加するにあたって、参加しづらいと感じる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

スポーツ・レクリエーションへ参加しづらいと感じる理由についてみると、全体では「わからない」が 23.5%と最も高く、次いで「仲間がいない」が 21.2%となっています。

性別にみると、「交通手段・移動手段がない」では女性が男性より 5.5 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、「身体」では「わからない」、「知的」「精神」「発達」「難病」では「仲間がいない」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：％

	交通手段・ 移動手段 がない	スポーツ・ レクリエー ションをで きる場所が ない	施設がバリ アフリーで ない	施設に利 用を断られ る	スポーツ・ レクリエー ションにつ いての情 報が入手し にくい	介助者が いない	仲間がい ない	金銭的な 余裕がな い
全体(N=1,062)	16.3	6.8	2.4	0.8	16.6	8.1	21.2	13.5
男性(N=574)	13.8	7.3	2.6	0.9	17.2	7.1	21.8	13.9
女性(N=476)	19.3	6.1	2.3	0.6	16.2	9.2	20.4	12.6
身体(N=721)	14.3	5.1	3.3	0.7	14.8	7.8	17.8	12.3
知的(N=191)	23.0	13.6	0.0	1.6	20.9	12.0	25.1	7.3
精神(N=158)	17.7	6.3	1.3	0.0	19.6	6.3	35.4	26.6
発達(N=162)	17.9	9.9	0.6	1.2	22.2	11.7	27.2	6.8
難病(N=80)	21.3	5.0	3.8	1.3	18.8	13.8	26.3	20.0
	障がいに 適したス ポーツ・レ クリエーシ ョンがない	その他	参加しづ らいと感じ たことは ない	わからない				
全体(N=1,062)	14.9	10.1	15.5	23.5				
男性(N=574)	13.4	7.7	16.6	25.3				
女性(N=476)	16.8	12.4	14.3	21.6				
身体(N=721)	18.2	10.3	18.2	22.9				
知的(N=191)	8.9	3.7	13.1	24.1				
精神(N=158)	5.7	15.8	9.5	24.7				
発達(N=162)	11.7	9.3	11.1	20.4				
難病(N=80)	22.5	11.3	6.3	23.8				

5 災害時のことについて

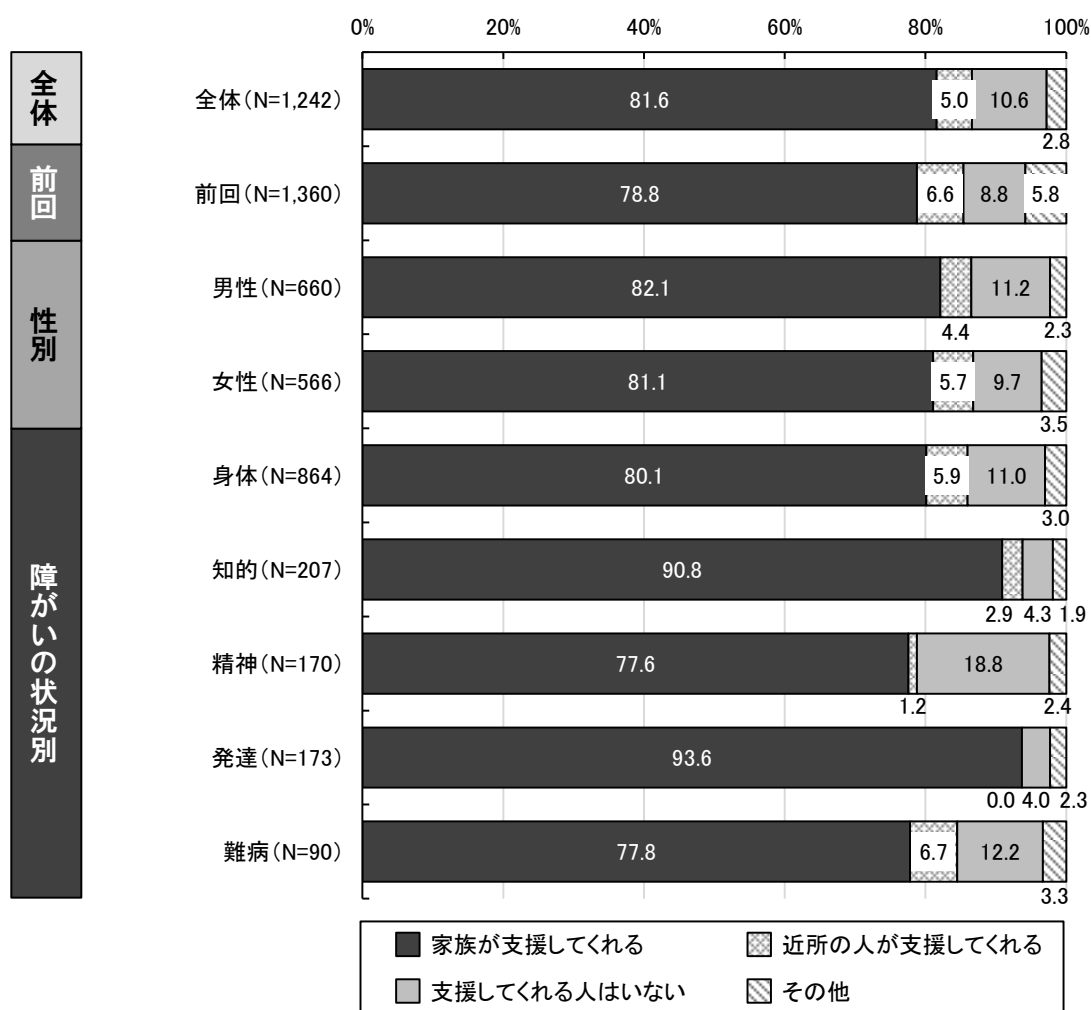
問 21 火事や地震などの災害が起きた場合に、家族や近所の人などあなたを支援してくれる人はいですか。(1つに○)

災害時に支援してくれる人の有無についてみると、全体では「家族が支援してくれる」が81.6%と最も高く、次いで「支援してくれる人はいない」10.6%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、いずれも「家族が支援してくれる」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「家族が支援してくれる」が最も高くなっています。



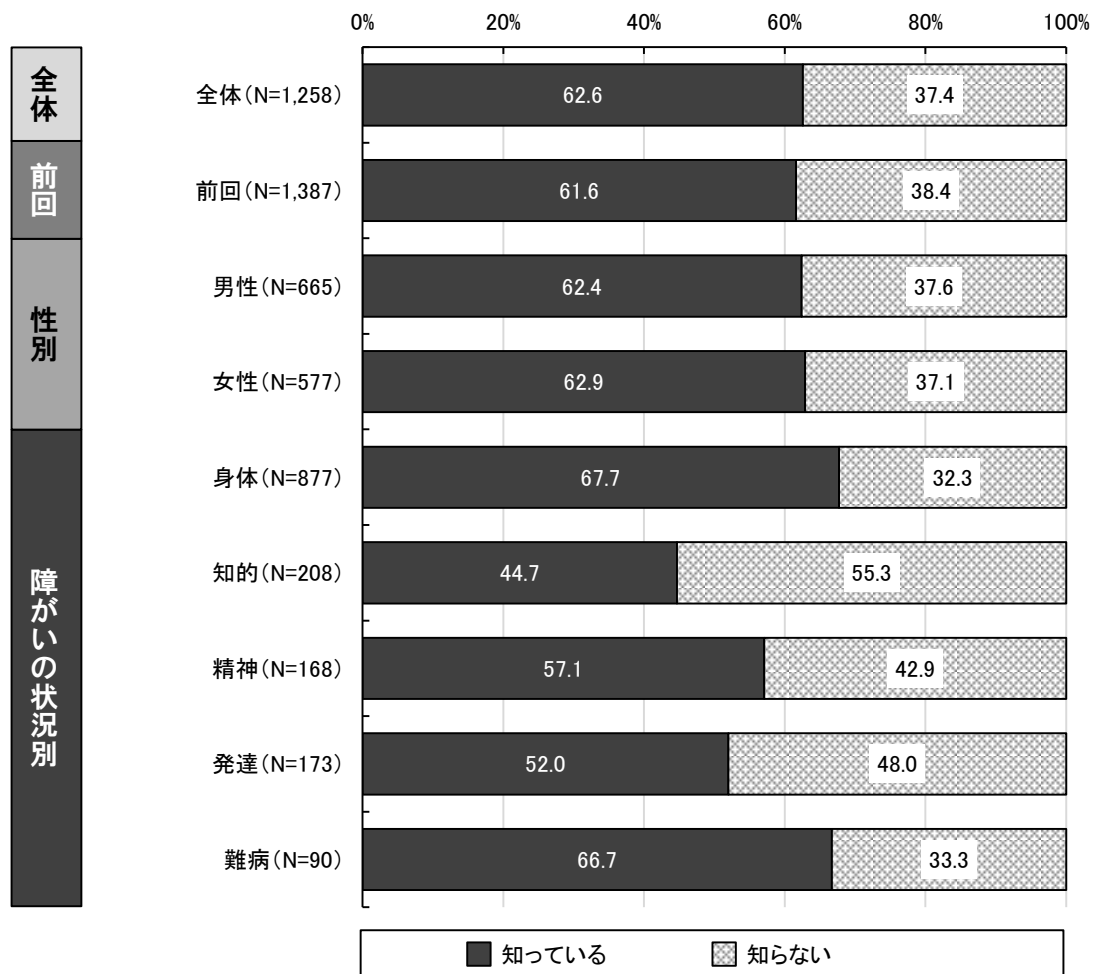
問 22 あなたは、一次避難所を知っていますか。(1つに○)

一次避難所の認知度についてみると、全体では「知っている」が62.6%、「知らない」が37.4%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、いずれも「知っている」が高くなっています。

障がいの状況別にみると、「身体」「精神」「発達」「難病」では「知っている」、「知的」では「知らない」がそれぞれ高くなっています。



問 23 火事や地震などの災害が発生したときに、あなたはどのようなことが困ると思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

災害発生時に困ることについてみると、全体では「安全なところまですばやく避難できない」が44.8%と最も高く、次いで「避難場所で、治療（必要な薬をもらうことを含む）を受けることが難しい」が37.4%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、「安全なところまですばやく避難できない」では女性が男性より8.6ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、「身体」では「安全なところまですばやく避難できない」、「知的」「発達」では「どのように対応すべきか判断できない」、「精神」では「避難場所で、その場や人になじむことができない」、「難病」では「避難場所で、治療（必要な薬をもらうことを含む）を受けることが難しい」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：％

	何が起こっているのか把握できない	どのように対応すべきか判断できない	周りの人に介助を求めることができない	安全なところまですばやく避難できない	避難場所で、その場や人になじむことができない	避難場所で、被害状況や支援物資などの情報が入手できない	避難場所で、治療（必要な薬をもらうことを含む）を受けることが難しい	避難場所の障がい者用トイレ・避難路など障がいのある人が生活できる環境が整っていない
全体(N=1,250)	26.7	36.3	20.8	44.8	25.7	20.7	37.4	23.3
前回(N=1,368)	26.9	34.6	20.0	46.3	22.6	21.3	34.5	23.9
男性(N=666)	26.9	35.7	21.2	40.8	27.2	20.9	35.6	22.1
女性(N=567)	26.6	37.6	20.5	49.4	23.8	20.8	39.3	25.2
身体(N=868)	22.4	26.8	15.9	47.1	15.4	16.1	36.5	26.5
知的(N=210)	46.7	67.6	43.3	49.5	50.5	39.5	33.3	19.5
精神(N=170)	23.5	44.7	21.2	27.1	48.2	20.6	44.1	10.6
発達(N=174)	44.3	64.4	35.6	42.5	58.0	39.1	40.8	23.0
難病(N=91)	31.9	37.4	28.6	57.1	30.8	24.2	58.2	35.2
	その他	特に困ることはない						
全体(N=1,250)	5.6	18.2						
前回(N=1,368)	6.2	18.4						
男性(N=666)	5.0	19.8						
女性(N=567)	6.3	16.4						
身体(N=868)	6.6	20.5						
知的(N=210)	1.4	12.4						
精神(N=170)	7.1	15.3						
発達(N=174)	1.7	9.2						
難病(N=91)	7.7	6.6						

問 24 あなたは、火事や地震などの災害に備えて、していることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

災害に備えてしていることについてみると、全体では「特に何もしていない」が 54.2%と最も高く、次いで「常備薬や食料・水などを用意している」が 32.5%となっています。

前回と比較すると、「常備薬や食料・水などを用意している」が 8.1 ポイント増加しています。

性別にみると、いずれも「特に何もしていない」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「特に何もしていない」が最も高くなっています。

単位：％

	普段から民生委員・児童委員や近所の人に自分の障がいの特性を理解してもらっている	常備薬や食料・水などを用意している	救助を求める笛やブザーなどを用意している	地域の防災訓練などに参加している	避難方法を具体的に準備している	自分の障がいの特性などを書いた支援ノートを持っている	その他	特に何もしていない
全体(N=1,245)	7.3	32.5	5.4	10.0	4.0	4.5	1.8	54.2
前回(N=1,371)	8.7	24.4	5.6	11.3	3.1	6.9	3.8	57.8
男性(N=658)	7.1	31.6	5.6	12.0	4.0	3.8	1.4	55.3
女性(N=570)	7.5	34.4	5.1	8.1	4.2	4.7	2.5	52.6
身体(N=870)	7.8	34.6	6.2	12.0	4.7	4.7	1.8	51.4
知的(N=206)	6.3	23.8	1.9	5.8	0.0	4.9	2.9	64.1
精神(N=169)	5.3	33.1	5.3	7.1	5.3	2.4	1.2	56.2
発達(N=174)	8.0	31.6	3.4	9.8	2.3	6.9	2.3	52.9
難病(N=87)	8.0	33.3	8.0	4.6	5.7	8.0	1.1	56.3

6 障がい福祉サービスについて

問 25 あなたは現在、次のサービスを利用していますか。また、今後、利用したいと思いますか。
(それぞれあてはまるものすべてに○)

(1) 現在、利用している

現在利用しているサービスについてみると、全体では「就労継続支援（A型、B型）」が 23.2%と最も高く、次いで「相談支援」が 22.3%となっています。

性別にみると、男性では「就労継続支援（A型、B型）」、女性では「居宅介護（ホームヘルプ）」がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、「身体」「難病」では「居宅介護（ホームヘルプ）」、「知的」「精神」では「就労継続支援（A型、B型）」、「発達」では「相談支援」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：％

	居宅介護 (ホームヘルプ)	重度訪問 介護	同行援護	行動援護	生活介護	重度障害 者等包括 支援	自立訓練 (機能訓 練、生活訓 練)	療養介護	施設入所 支援	共同生活 援助(グ ループホー ム)
全体(N=349)	22.1	4.0	5.4	6.6	13.8	4.6	6.9	1.7	6.3	6.0
男性(N=210)	17.6	3.3	6.2	8.6	14.8	3.8	7.1	1.0	3.8	5.7
女性(N=134)	29.1	4.5	4.5	3.7	12.7	5.2	6.7	3.0	10.4	6.7
身体(N=165)	32.1	7.9	9.1	4.8	17.6	7.9	10.9	1.8	10.9	3.0
知的(N=131)	12.2	0.0	3.1	9.9	11.5	1.5	1.5	0.8	1.5	9.9
精神(N=52)	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	1.9	1.9	3.8
発達(N=111)	14.4	1.8	1.8	9.0	11.7	4.5	3.6	0.0	1.8	4.5
難病(N=28)	39.3	17.9	7.1	7.1	3.6	7.1	7.1	0.0	10.7	3.6
	短期入所 (ショートス テイ)	就労移行 支援	就労継続 支援(A 型、B型)	相談支援	児童発達 支援	医療型児 童発達支 援	放課後等 デイサービ ス	居宅訪問 型児童発 達支援	保育所等 訪問支援	
全体(N=349)	17.5	5.4	23.2	22.3	6.0	0.9	16.3	0.3	0.6	
男性(N=210)	16.7	8.1	23.8	21.0	6.7	1.0	17.6	0.5	1.0	
女性(N=134)	18.7	1.5	23.1	23.9	5.2	0.7	14.9	0.0	0.0	
身体(N=165)	26.1	2.4	8.5	20.0	4.8	1.8	15.8	0.6	0.6	
知的(N=131)	13.0	6.1	33.6	26.0	9.2	0.0	22.9	0.0	0.8	
精神(N=52)	1.9	11.5	53.8	26.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
発達(N=111)	16.2	7.2	27.0	32.4	9.0	0.9	27.9	0.0	0.0	
難病(N=28)	17.9	0.0	14.3	21.4	7.1	3.6	14.3	0.0	0.0	

(2) 今後、利用したい（利用を継続したい）

今後、利用したい（利用を継続したい）サービスについてみると、全体では「相談支援」が30.5%と最も高く、次いで「居宅介護（ホームヘルプ）」が29.4%となっています。

性別にみると、男性では「相談支援」、女性では「居宅介護（ホームヘルプ）」がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、「身体」「難病」では「居宅介護（ホームヘルプ）」、「知的」「精神」では「就労継続支援（A型、B型）」、「発達」では「相談支援」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：%

	居宅介護 (ホームヘルプ)	重度訪問 介護	同行援護	行動援護	生活介護	重度障害 者等包括 支援	自立訓練 (機能訓 練、生活訓 練)	療養介護	施設入所 支援	共同生活 援助(グ ループホー ム)
全体(N=439)	29.4	4.8	9.1	13.4	16.9	5.5	13.2	5.7	12.8	16.6
男性(N=240)	27.1	3.8	7.5	12.1	17.9	5.0	10.8	4.6	8.8	18.3
女性(N=195)	32.3	5.6	11.3	15.4	15.9	6.2	15.9	7.2	17.9	14.9
身体(N=254)	36.6	7.5	11.4	10.2	20.9	7.9	15.0	7.5	14.6	9.8
知的(N=123)	18.7	0.8	7.3	22.0	13.8	2.4	8.9	3.3	10.6	35.0
精神(N=67)	17.9	0.0	6.0	10.4	7.5	4.5	11.9	1.5	9.0	10.4
発達(N=104)	21.2	1.0	8.7	20.2	16.3	2.9	12.5	1.9	9.6	19.2
難病(N=35)	37.1	11.4	8.6	11.4	17.1	8.6	17.1	5.7	8.6	14.3
	短期入所 (ショートス テイ)	就労移行 支援	就労継続 支援(A 型、B型)	相談支援	児童発達 支援	医療型児 童発達支 援	放課後等 デイサービ ス	居宅訪問 型児童発 達支援	保育所等 訪問支援	
全体(N=439)	23.7	11.2	20.7	30.5	3.9	1.6	9.8	0.9	0.7	
男性(N=240)	26.7	12.9	20.8	31.7	4.6	1.3	10.0	0.4	1.3	
女性(N=195)	20.5	9.2	20.5	29.7	3.1	2.1	9.7	1.5	0.0	
身体(N=254)	25.2	5.5	6.3	29.1	1.6	2.8	6.7	1.2	0.4	
知的(N=123)	30.1	15.4	38.2	33.3	9.8	0.0	21.1	0.8	1.6	
精神(N=67)	7.5	25.4	50.7	32.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
発達(N=104)	31.7	19.2	34.6	37.5	5.8	1.9	21.2	1.0	1.0	
難病(N=35)	14.3	8.6	22.9	31.4	5.7	5.7	8.6	2.9	0.0	

問 26 あなたは現在、次のサービスを利用していますか。利用している場合は満足していますか。
 (それぞれあてはまるものすべてに○)

(1) 現在、利用している

現在利用しているサービスについてみると、全体では「医療費の助成」が 45.8%と最も高く、次いで「手当・年金等」が 42.4%となっています。

性別にみると、男性では「手当・年金等」、女性では「医療費の助成」がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、「身体」「難病」では「医療費の助成」、「知的」「発達」では「手当・年金等」、「精神」では「自立支援医療費の給付」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：％

	日中一時 支援	訪問入浴	補装具の 交付・修理	自立支援 医療費の 給付	医療費の 助成	日常生活 用具の給 付	紙おむつ購 入費の助 成	住宅改造 費の助成	緊急通報 システム機 器設置費 用の助成
全体(N=681)	11.9	4.1	15.7	16.3	45.8	10.1	10.4	4.8	1.2
男性(N=379)	13.5	3.7	14.5	13.5	44.9	7.7	10.3	4.2	0.5
女性(N=294)	9.9	4.8	17.3	20.1	46.9	13.3	10.2	5.4	2.0
身体(N=439)	6.8	6.2	23.0	7.7	48.7	15.3	13.2	7.1	1.6
知的(N=131)	32.8	0.0	0.8	8.4	40.5	0.0	4.6	0.0	0.0
精神(N=112)	7.1	0.0	1.8	67.0	42.0	0.9	2.7	1.8	0.0
発達(N=124)	28.2	1.6	12.1	21.8	49.2	8.1	14.5	4.0	0.0
難病(N=53)	7.5	13.2	20.8	9.4	58.5	17.0	13.2	9.4	0.0
	移動支援	自動車運 転免許証 取得費の 助成	自動車改 造費の助 成	重度心身 障がい者 (児)等自 動車燃料 費・福祉タ クシー運賃 助成	手当・年金 等	税の優遇	公共料金 の割引	成年後見 制度	地域福祉 権利擁護 事業
全体(N=681)	6.9	0.3	2.3	25.8	42.4	37.2	33.0	1.6	0.9
男性(N=379)	7.4	0.0	2.6	26.4	48.5	40.4	36.1	2.6	1.1
女性(N=294)	6.5	0.7	2.0	24.8	34.7	33.0	28.9	0.3	0.3
身体(N=439)	4.8	0.5	3.6	33.7	33.7	44.6	39.2	0.5	0.7
知的(N=131)	19.1	0.0	0.0	17.6	69.5	29.0	22.9	3.8	0.0
精神(N=112)	2.7	0.0	0.0	3.6	48.2	17.9	23.2	2.7	0.9
発達(N=124)	15.3	0.8	3.2	25.8	65.3	33.9	27.4	1.6	0.0
難病(N=53)	3.8	1.9	5.7	35.8	39.6	45.3	28.3	0.0	1.9

(2) 満足している {(1) で利用しているもののみ}

利用していて満足しているサービスについてみると、全体では「医療費の助成」が46.2%と最も高く、次いで「手当・年金等」が37.1%となっています。

性別にみると、「公共料金の割引」では男性が女性より10.4ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、「身体」「難病」では「医療費の助成」、「知的」「発達」では「手当・年金等」、「精神」では「自立支援医療費の給付」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：%

	日中一時 支援	訪問入浴	補装具の 交付・修理	自立支援 医療費の 給付	医療費の 助成	日常生活 用具の給 付	紙おむつ購 入費の助 成	住宅改造 費の助成	緊急通報 システム機 器設置費 用の助成
全体(N=420)	11.7	4.0	15.0	16.7	46.2	8.8	9.5	2.9	1.9
男性(N=236)	11.9	4.2	15.3	14.4	46.6	5.9	9.7	3.0	1.3
女性(N=180)	11.1	3.9	15.0	20.0	46.1	12.8	8.9	2.8	2.8
身体(N=262)	7.3	6.1	22.9	8.4	50.0	14.1	13.4	4.6	2.7
知的(N=84)	29.8	0.0	1.2	4.8	41.7	0.0	2.4	0.0	0.0
精神(N=76)	5.3	0.0	1.3	60.5	36.8	0.0	1.3	0.0	0.0
発達(N=90)	25.6	3.3	11.1	21.1	47.8	6.7	11.1	1.1	1.1
難病(N=40)	5.0	15.0	20.0	10.0	52.5	12.5	17.5	5.0	2.5
	移動支援	自動車運 転免許証 取得費の 助成	自動車改 造費の助 成	重度心身 障がい者 (児)等自 動車燃料 費・福祉タ クシー運賃 助成	手当・年金 等	税の優遇	公共料金 の割引	成年後見 制度	地域福祉 権利擁護 事業
全体(N=420)	5.7	1.4	2.4	16.7	37.1	36.2	28.6	0.7	0.7
男性(N=236)	4.7	0.8	3.4	16.1	39.4	38.6	32.6	1.3	1.3
女性(N=180)	7.2	2.2	1.1	16.1	33.9	32.8	22.2	0.0	0.0
身体(N=262)	3.8	1.9	3.8	23.3	29.8	46.2	35.1	0.0	0.4
知的(N=84)	16.7	1.2	0.0	7.1	54.8	22.6	17.9	1.2	0.0
精神(N=76)	1.3	0.0	0.0	0.0	43.4	17.1	18.4	1.3	1.3
発達(N=90)	15.6	1.1	2.2	15.6	58.9	27.8	21.1	0.0	0.0
難病(N=40)	7.5	0.0	2.5	20.0	32.5	37.5	12.5	0.0	2.5

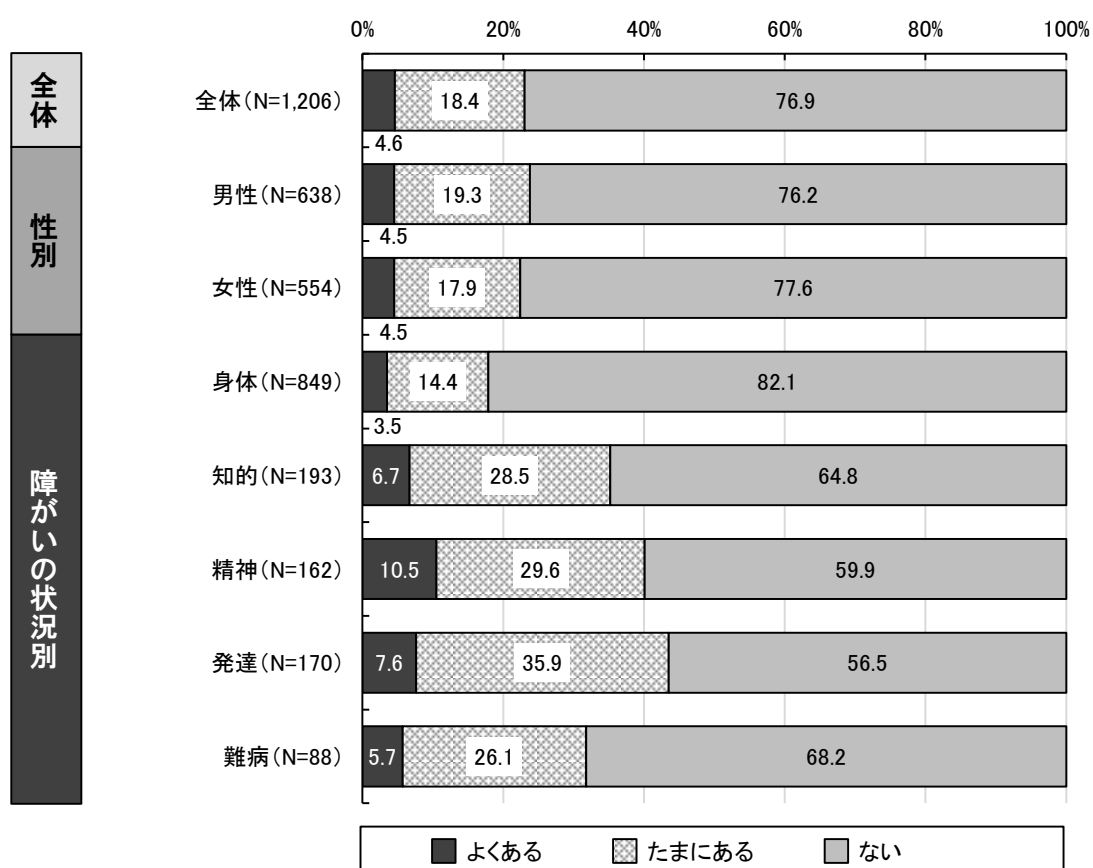
7 一人ひとりの権利を守る取り組みについて

問 27 あなたは日常生活において、障がいがあるために差別や偏見を受けたり、嫌がらせをされたり、仲間はずれにされたと感じることはありませんか。(1つに○)

日常生活において、障がいがある理由で差別や偏見を受けたり、嫌がらせをされたり、仲間はずれにされたと感じることはありませんかについてみると、全体では「ない」が76.9%と最も高く、次いで「たまにある」が18.4%となっています。

性別にみると、いずれも「ない」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「ない」が最も高くなっています。



問 27 で「よくある」、「たまにある」を選んだ方

問 27-1 どのようなときにそれを感じましたか。(あてはまるものすべてに○)

どのようなときにそれを感じたかについてみると、全体では「職場や学校での人とのつきあい」が 36.2%と最も高く、次いで「地域の行事や集まり」が 25.8%となっています。

性別にみると、「職場や学校での人とのつきあい」では男性が女性より 10.6 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、「身体」では「地域の行事や集まり」、「知的」「精神」「発達」「難病」では「職場や学校での人とのつきあい」がそれぞれ最も高くなっています。

単位: %

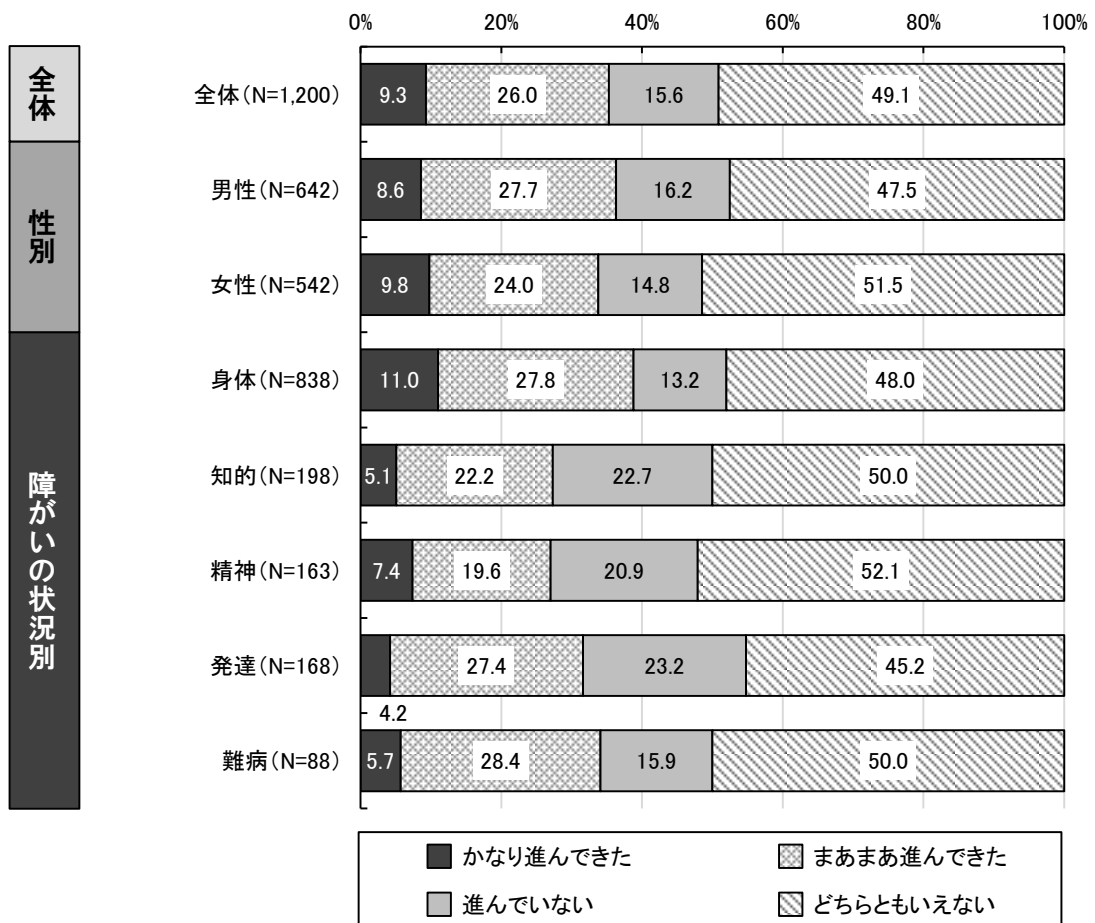
	仕事の内容や給料の額	職場や学校での人とのつきあい	親戚関係の集まりの場	スポーツ・趣味の活動	地域の行事や集まり	お店などでの対応	市役所などの公共機関などでの対応	バスや電車等の交通機関を利用した時
全体(N=260)	23.5	36.2	10.8	6.2	25.8	16.2	8.8	23.5
男性(N=142)	26.8	40.8	9.9	7.0	22.5	15.5	8.5	22.5
女性(N=116)	19.8	30.2	12.1	5.2	30.2	17.2	8.6	24.1
身体(N=140)	18.6	24.3	8.6	7.1	30.0	20.0	9.3	29.3
知的(N=64)	28.1	46.9	9.4	4.7	23.4	14.1	6.3	14.1
精神(N=61)	27.9	54.1	19.7	6.6	19.7	9.8	11.5	18.0
発達(N=69)	27.5	46.4	13.0	4.3	29.0	15.9	7.2	24.6
難病(N=22)	9.1	40.9	13.6	0.0	31.8	4.5	27.3	18.2
	病院などの医療機関を利用した時	その他						
全体(N=260)	10.8	11.2						
男性(N=142)	12.0	9.9						
女性(N=116)	8.6	12.9						
身体(N=140)	11.4	10.7						
知的(N=64)	6.3	4.7						
精神(N=61)	13.1	19.7						
発達(N=69)	15.9	5.8						
難病(N=22)	0.0	18.2						

問 28 あなたは、栗東市民の障がいのある人に対する理解は進んできたと思いますか。(1つに○)

栗東市民の障がいのある人に対する理解は進んできたと思うかについてみると、全体では「どちらともいえない」が49.1%と最も高く、次いで「まあまあ進んできた」が26.0%となっています。

性別にみると、いずれも「どちらともいえない」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「どちらともいえない」が最も高くなっています。

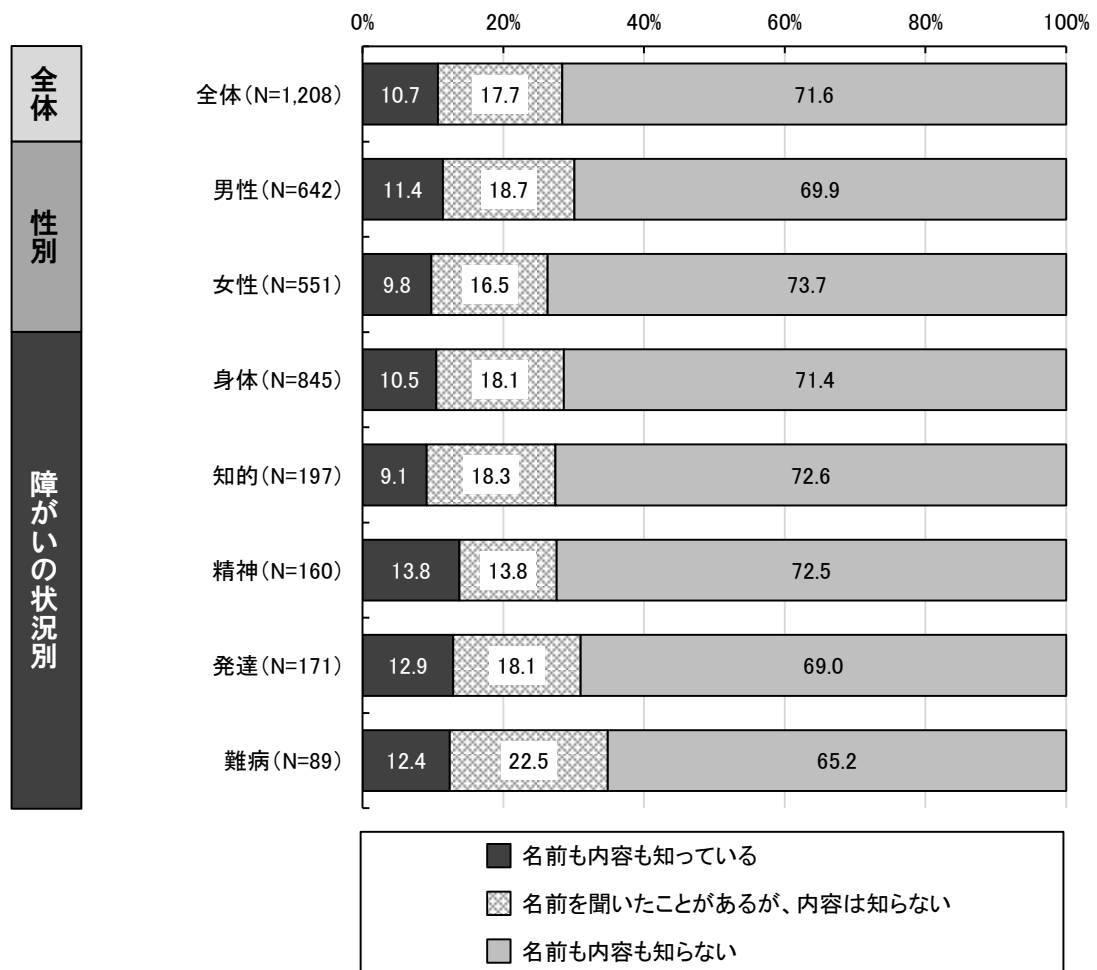


問 29 あなたは、合理的配慮について知っていますか。(1 つに○)

合理的配慮の認知度についてみると、全体では「名前も内容も知らない」が 71.6%と最も高く、次いで「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が 17.7%となっています。

性別にみると、いずれも「名前も内容も知らない」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「名前も内容も知らない」が最も高くなっています。

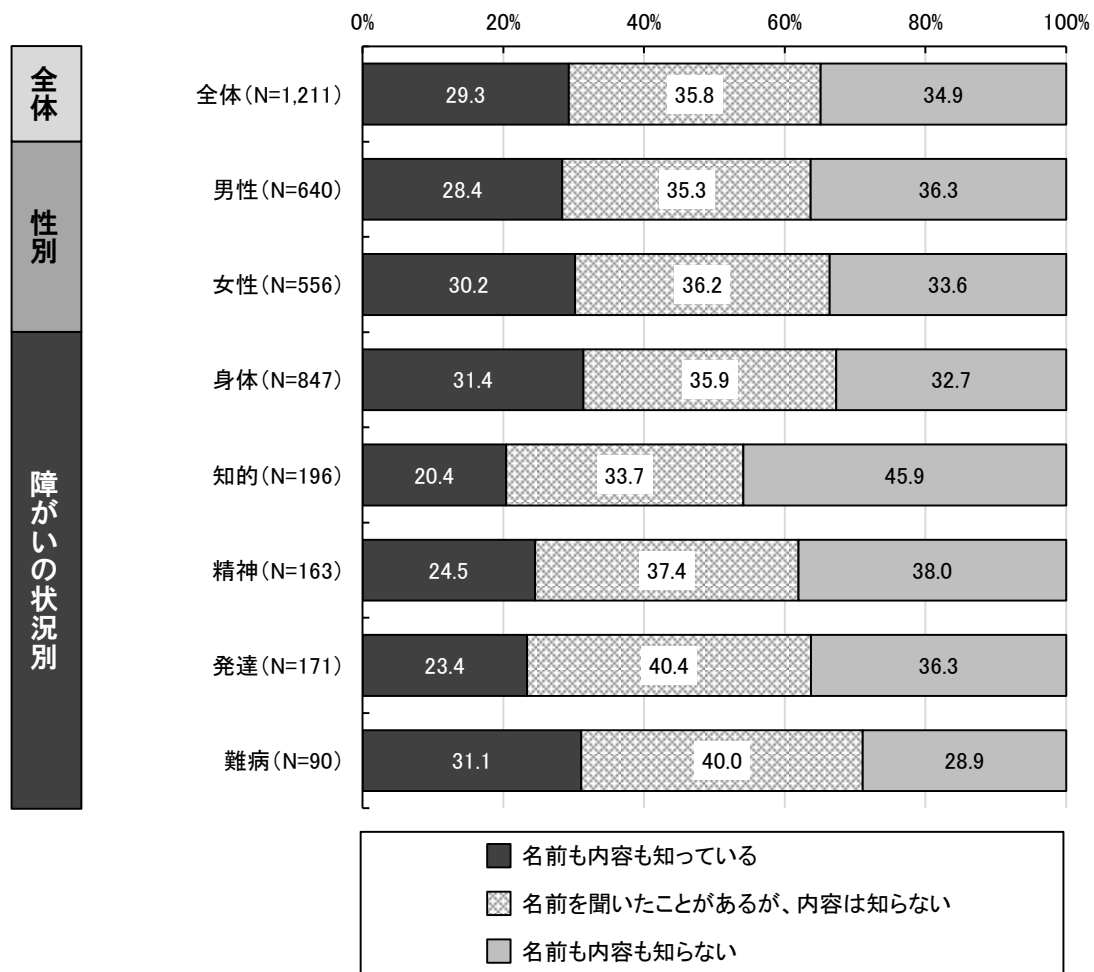


問 30 あなたは、成年後見制度について知っていますか。(1つに○)

成年後見制度の認知度についてみると、全体では「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が35.8%と最も高く、次いで「名前も内容も知らない」が34.9%となっています。

性別にみると、男性では「名前も内容も知らない」、女性では「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、「身体」「発達」「難病」では「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」、「知的」「精神」では「名前も内容も知らない」がそれぞれ最も高くなっています。



問 31 あなたは、“栗東市手話言語条例”と“栗東市市民をつなぐ情報・コミュニケーション条例”が施行されるにあたり、どのようなことを期待しますか。(あてはまるものすべてに○)

条例施行にあたり、期待することについてみると、全体では「障がいに対する理解が広まる」が 58.2%と最も高く、次いで「障がいの有無にかかわらず、情報を取得しやすい環境が整う」が 44.3%となっています。

性別にみると、「手話に対する理解が広まる」では女性が男性より 8.9 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「障がいに対する理解が広まる」が最も高くなっています。

単位：％

	手話に対する理解が 広まる	障がいに対する理解 が広まる	手話通訳 者の数が増え、支援 体制が充実する	要約筆記 者の数が増え、支援 体制が充実する	障がいの 有無にか かわらず、 情報を取得 しやすい環 境が整う	手話や要 約筆記など を学習する 機会が提 供される	障がい者 のコミュニ ケーション についての 支援が充 実する	その他	期待するこ とはない
全体(N=1,090)	36.1	58.2	20.3	11.8	44.3	17.4	36.7	3.1	13.9
男性(N=583)	32.1	59.9	19.2	9.9	45.1	17.0	36.2	3.4	15.4
女性(N=495)	41.0	56.0	21.8	14.1	42.4	18.4	37.8	2.8	12.5
身体(N=753)	37.6	58.4	22.3	12.2	46.7	18.2	35.7	3.2	11.6
知的(N=178)	30.3	55.1	15.7	10.7	33.7	13.5	39.3	3.9	20.2
精神(N=151)	36.4	60.9	15.2	13.2	44.4	18.5	39.7	2.0	17.9
発達(N=161)	33.5	65.8	19.9	14.3	42.2	17.4	44.1	5.0	11.2
難病(N=81)	40.7	66.7	24.7	18.5	42.0	22.2	37.0	2.5	13.6

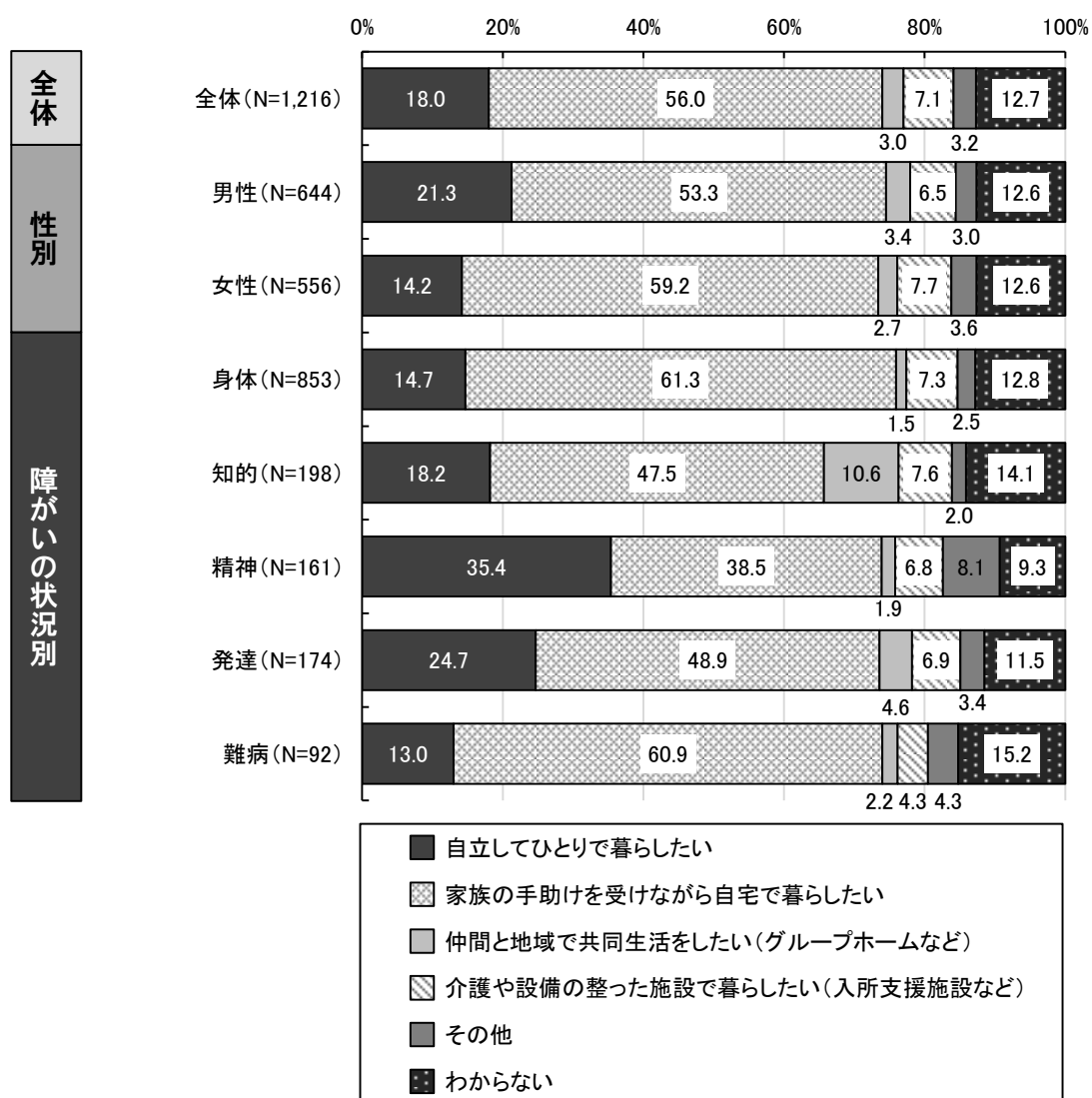
8 今後についてのあなたのお考えについて

問 32 あなたは、今後どのように暮らしていきたいとお考えですか。(1つに○)

今後どのように暮らしていきたいかについてみると、全体では「家族の手助けを受けながら自宅で暮らしたい」が 56.0%と最も高く、次いで「自立してひとりで暮らしたい」が 18.0%となっています。

性別にみると、「自立してひとりで暮らしたい」では男性が女性より 7.1 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「家族の手助けを受けながら自宅で暮らしたい」が最も高くなっています。



問 33 あなたにとって住みよいまちをつくるためには、どのようなことが必要だとお考えですか。
(あてはまるものすべてに○)

住みよいまちをつくるために必要なことについてみると、全体では「サービス利用の手続きの簡素化」が 58.1%と最も高く、次いで「なんでも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」が 55.4%となっています。

前回と比較すると、「サービス利用の手続きの簡素化」が 7.6 ポイント増加しています。

性別にみると、「在宅での生活や介助がしやすいよう、保健・医療・福祉のサービスの充実」では女性が男性より 7.5 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、「身体」「精神」「発達」「難病」では「サービス利用の手続きの簡素化」、「知的」では「なんでも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：％

	なんでも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実	サービス利用の手続きの簡素化	行政からの福祉に関する情報提供の充実	保健や福祉の専門的な人材の育成と資質の向上	参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動の充実	いろいろなボランティア活動の育成	在宅での生活や介助がしやすいよう、保健・医療・福祉のサービスの充実	リハビリ・生活訓練・職業訓練などの施設の充実	地域でともに学べる保育・教育内容の充実
全体(N=1,211)	55.4	58.1	39.6	24.6	16.4	10.2	35.3	19.6	7.2
前回(N=1,326)	55.1	50.5	41.9	24.9	15.5	8.7	30.9	22.8	7.7
男性(N=638)	57.2	57.2	40.4	24.8	18.8	11.1	31.7	20.1	8.8
女性(N=558)	53.2	59.3	38.7	24.7	14.0	9.5	39.2	19.4	5.6
身体(N=848)	53.3	57.2	39.6	22.4	14.7	9.4	38.1	19.2	5.8
知的(N=194)	61.3	57.2	39.7	28.4	23.2	14.4	29.4	18.6	11.3
精神(N=165)	61.2	63.0	38.8	32.7	19.4	10.3	25.5	23.6	9.1
発達(N=173)	62.4	65.3	43.4	34.7	20.2	13.9	31.2	25.4	13.3
難病(N=91)	58.2	64.8	38.5	28.6	9.9	6.6	42.9	29.7	7.7
	職業訓練の充実や働く場所の確保	障がいの有無にかかわらず、住民どうしがふれあう機会や場の充実	利用しやすい道路・建物などの整備・改善	障がいに配慮した公営住宅やグループホームの整備など、生活の場の確保	災害や緊急時の避難誘導体制の整備	障がいの理解を促すための福祉教育や広報活動の充実	その他	特にない	
全体(N=1,211)	16.0	19.8	23.0	24.7	29.8	21.3	2.1	6.8	
前回(N=1,326)	15.0	17.9	20.2	23.3	28.4	21.4	3.2	11.2	
男性(N=638)	19.3	21.6	23.2	24.9	29.0	23.5	1.4	6.4	
女性(N=558)	12.5	17.9	22.4	24.6	30.6	18.8	2.7	7.2	
身体(N=848)	10.1	20.4	26.2	20.5	30.1	18.6	1.2	6.4	
知的(N=194)	28.4	17.5	11.3	38.1	33.0	28.9	2.1	8.2	
精神(N=165)	32.7	21.2	18.2	33.3	27.3	27.3	7.3	7.9	
発達(N=173)	31.8	24.3	19.1	34.1	38.7	32.4	2.3	6.9	
難病(N=91)	17.6	15.4	25.3	27.5	34.1	25.3	3.3	4.4	

問 34 障がいのある人が住み慣れた地域で暮らし続けられるようにするため、どのようなことが重要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

障がいのある人が住み慣れた地域で暮らし続けられるようにするために重要なことについてみると、全体では「近所どうしのつきあいを深めること」が46.5%と最も高く、次いで「入所施設を充実させること」が30.0%となっています。

前回と比較すると、選択肢が大きく変化しているため参考程度ですが大きな差はみられません。

性別にみると、「障がいのある人どうしの交流を深めること」では男性が女性より6.4ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「近所どうしのつきあいを深めること」が最も高くなっています。

単位：％

	近所どうしのつきあいを深めること	障がいのある人どうしの交流を深めること	民生委員・児童委員などの活動を充実させること	ボランティアなどを育成して、活動してもらうこと	生活介護などの通所施設を充実させること	訪問系のサービスを充実させること	短期入所（ショートステイ）施設を充実させること	居宅サービスを充実させること
全体(N=1,184)	46.5	23.2	21.5	16.5	29.0	27.1	23.4	
前回(N=1,301)	46.6	23.2	23.7	19.1				30.7
男性(N=631)	45.2	26.3	20.4	16.8	27.9	25.7	22.5	
女性(N=538)	48.1	19.9	22.3	16.5	30.9	29.0	24.7	
身体(N=823)	50.8	20.8	22.5	15.9	29.2	28.6	22.8	
知的(N=198)	38.4	31.3	18.2	17.7	34.3	22.7	27.8	
精神(N=162)	35.2	30.9	18.5	18.5	21.6	25.3	20.4	
発達(N=173)	43.9	35.8	16.2	15.6	31.8	23.1	28.9	
難病(N=89)	41.6	21.3	31.5	16.9	29.2	34.8	25.8	
	グループホームを充実させること	入所施設を充実させること	入所施設やグループホームを充実させること	その他	わからない			
全体(N=1,184)	17.1	30.0		2.2	16.3			
前回(N=1,301)			33.1	4.3	20.4			
男性(N=631)	18.1	29.0		1.1	17.7			
女性(N=538)	16.5	31.6		3.3	14.5			
身体(N=823)	12.8	29.8		2.6	13.2			
知的(N=198)	35.9	34.3		1.5	20.7			
精神(N=162)	17.9	24.7		1.2	27.8			
発達(N=173)	30.6	32.9		2.3	16.8			
難病(N=89)	18.0	27.0		1.1	16.9			

※「生活介護などの通所施設を充実させること」「訪問系のサービスを充実させること」「短期入所（ショートステイ）施設を充実させること」「グループホームを充実させること」「入所施設を充実させること」は今回調査のみの選択肢

「居宅サービスを充実させること」「入所施設やグループホームを充実させること」は前回調査のみの選択肢

9 障がいのある人を「主に介助する人」について

問 35 今回の調査対象である障がいのある方を、主に介助する人はどなたですか。(1つに○)

主に介助する人についてみると、全体では「同居の家族」が 87.8%と最も高く、次いで「別居の家族・親族」が 6.2%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、「同居の家族」では男性が女性より 6.2 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「同居の家族」が最も高くなっています。

単位: %

	同居の家族	別居の家族・親族	近所の人・民生委員・児童委員	ホームヘルパー	施設・病院の職員	ボランティア	その他
全体(N=888)	87.8	6.2	0.2	1.4	2.7	0.3	1.4
前回(N=951)	87.2	6.7	0.3	1.1	2.8	0.1	1.8
男性(N=473)	91.1	4.2	0.2	1.3	1.9	0.2	1.1
女性(N=404)	84.9	8.2	0.2	1.0	3.5	0.5	1.7
身体(N=612)	85.5	8.0	0.3	1.3	3.1	0.3	1.5
知的(N=177)	96.0	1.7	0.0	1.1	0.6	0.0	0.6
精神(N=96)	87.5	4.2	0.0	2.1	3.1	1.0	2.1
発達(N=149)	93.3	3.4	0.0	1.3	0.0	0.7	1.3
難病(N=75)	84.0	9.3	0.0	1.3	5.3	0.0	0.0

問 35 で「同居の家族」、「別居の家族・親族」を選んだ方

問 35－1 主に介助する人の年齢をお答えください。(1つに○)

主に介助する人の年齢についてみると、全体では「70 歳以上」が 33.5%と最も高く、次いで「50 歳代」が 20.9%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、「40 歳代」では女性が男性より 5.8 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、「身体」「精神」「難病」では「70 歳以上」、「知的」「発達」では「50 歳代」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：％

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	わからない
全体(N=809)	0.2	1.2	5.4	17.9	20.9	20.8	33.5	
前回(N=870)	0.9	1.0	7.1	19.3	18.6	23.7	29.1	0.2
男性(N=437)	0.2	0.7	6.4	15.3	22.2	22.7	32.5	
女性(N=365)	0.3	1.9	4.4	21.1	19.2	18.4	34.8	
身体(N=552)	0.0	1.6	5.1	14.9	17.2	22.5	38.8	
知的(N=169)	0.6	0.6	5.9	29.6	31.4	16.0	16.0	
精神(N=87)	1.1	0.0	8.0	12.6	24.1	19.5	34.5	
発達(N=143)	0.7	0.7	10.5	32.2	33.6	10.5	11.9	
難病(N=68)	1.5	2.9	8.8	17.6	13.2	26.5	29.4	

※「わからない」は前回調査のみの選択肢

問 35 で「同居の家族」、「別居の家族・親族」を選んだ方

問 35-2 主に介助する人（介助者）が、日頃、不安や心配および負担に感じていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

介助者が日頃、不安や心配および負担に感じていることについてみると、全体では「介助者自身の健康に不安がある」が 53.1%と最も高く、次いで「介助者が高齢であることに不安がある」が 38.5%となっています。

前回と比較すると、「介助者の体力的な負担が大きい」が 9.0 ポイント減少しています。

性別にみると、「介助者の精神的な負担が大きい」では男性が女性より 7.8 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「介助者自身の健康に不安がある」が最も高くなっています。

単位：％

	介助者自身の健康に不安がある	介助者が高齢であることに不安がある	代わりに介助を頼める人がいない	介助者が仕事にかけられない	介助者が外出や旅行に出かけられない	介助者に休養や息抜きの時間がない	緊急時の対応に不安がある	介助者の経済的な負担が大きい
全体(N=769)	53.1	38.5	31.6	9.8	15.5	16.0	34.5	18.5
前回(N=808)	52.5	35.5	34.0	11.9	19.1	17.0	38.1	25.9
男性(N=421)	52.7	37.8	31.1	9.3	15.9	16.9	36.3	20.2
女性(N=340)	53.2	40.0	31.8	10.0	15.0	15.3	31.5	16.2
身体(N=518)	54.1	39.8	29.0	10.6	16.2	16.0	32.4	15.4
知的(N=165)	49.1	33.9	40.6	7.3	14.5	15.2	41.2	22.4
精神(N=83)	54.2	43.4	30.1	12.0	16.9	16.9	28.9	28.9
発達(N=137)	47.4	27.0	37.2	13.9	15.3	19.0	42.3	27.0
難病(N=69)	62.3	37.7	37.7	20.3	24.6	30.4	40.6	21.7
	介助者の精神的な負担が大きい	介助者の体力的な負担が大きい	介助者の相談相手がいない	その他	特にない			
全体(N=769)	28.3	27.3	9.9	2.1	15.2			
前回(N=808)	35.8	36.3	11.5	4.8	12.3			
男性(N=421)	31.6	26.4	10.2	2.1	12.1			
女性(N=340)	23.8	28.8	9.4	2.1	19.1			
身体(N=518)	25.7	29.3	6.4	1.5	15.4			
知的(N=165)	30.3	21.2	15.8	3.6	13.9			
精神(N=83)	37.3	25.3	22.9	3.6	15.7			
発達(N=137)	33.6	28.5	12.4	4.4	15.3			
難病(N=69)	27.5	33.3	13.0	1.4	14.5			

問 35 で「同居の家族」、「別居の家族・親族」を選んだ方

問 35－3 主に介助する人（介助者）が、介護をしている障がいのある方の将来について、どんな不安を感じていますか。（あてはまるものすべてに○）

介助者が介護をしている障がいのある方の将来について、感じている不安についてみると、全体では「老後について」が 72.3%と最も高く、次いで「生活について」が 55.6%となっています。

性別にみると、「生活について」では男性が女性より 12.5 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、「身体」「精神」「難病」では「老後について」、「知的」では「生活について」「老後について」、「発達」では「生活について」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：％

	教育について	住まいについて	生活について	老後について	その他	特にない
全体 (N=712)	6.6	20.9	55.6	72.3	5.1	10.5
男性 (N=393)	9.4	22.6	61.1	76.3	5.1	6.1
女性 (N=311)	3.2	19.0	48.6	67.5	5.1	16.1
身体 (N=475)	4.6	15.6	47.4	71.6	4.8	12.6
知的 (N=159)	13.2	37.7	76.7	76.7	5.0	4.4
精神 (N=77)	2.6	19.5	67.5	70.1	7.8	7.8
発達 (N=131)	19.1	35.9	80.9	71.0	6.1	5.3
難病 (N=62)	12.9	24.2	53.2	67.7	9.7	12.9